

社 会 資 本 整 備 総 合 交 付 金 事 業

東 御 中 央 公 園 北 側 ト イ レ 改 修 第 1 期 工 事

② 仮設工事	① 足場その他	足場を設ける場合、「改修標仕」2.2.1 (2) によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の (2) 手すり据置方式又は (3) 手すり先行専用足場方式により行うこと。 [2.2.1] 内部足場 [2.2.1] 種別 ※ きゃたつ・足場板等 ・ローリングタワー ・ [2.2.1] 外部足場 ・ 設置する ・ 設置しない 種別 ・ 枠組足場又はくさび緊結式足場 ・ 単管本足場 ・ 仮設ゴンドラ ・ 移動式足場 範囲 ・ 工事に必要な範囲 防護シートによる養生 ・ 行う ・ 行わない 材料、撤去材等の運搬 ・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種 [2.2.1][表 2.2.1]			保護コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm ² ・ N/mm ² スランプ ※15cm ・18cm [3.3.2] 立上り部の保護工法 ・ 乾式保護材 乾式保護材の材料 ・ ・ コンクリート押え ・ モルタル押え (屋内等) ・ れんが押え (・図示) れんがの材料 ・JIS R 1250 (普通れんが及び化粧れんが) ・ 屋根露出防水絶縁断熱工法におけるルーフトレン回り及び立上り部周辺の [3.3.4(4) (f) (g)] 断熱材の張りじまい位置 ※図示 ・ 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げの場合 ※80mm以上 ・ 床面の仕上りの平たんさ ※ a 種 ・ b 種 ・ c 種 [表8.1.5] 床タイル張り等の場合 ※60mm以上 ・ 保護層等の屋上排水溝 ・ モルタル金こて仕上げ ※ 図示 [3.3.5(7)]		8 塗膜防水	[表 3.1.1][3.6.3][表 3.6.1～2] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 仕上げ塗料塗り ・ P O X 工法 ・ L 4 X 工法 ・ P 1 Y 工法 ・ P 2 Y 工法 既存防水層 (立上り部等) の撤去 ※ 除去する (ルーフィング類製造所の仕様による) ・ 除去しない 脱気装置の種類 ※ 設けない ・ 設ける (主材料製造所の指定による) 保護層の仕様 ※ 図示 シーリング改修工法の種類 ・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡張シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 ※ 下表以外は、改修標仕表 3.7.1 を標準とする 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) 外部建具周リ MS-2 仕上げを行わない施工箇所 () シーリング材の目地寸法 ※標仕9.7.3(1)による 接着性試験 ※行う (※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験) ・ 行わない [3.7.3] [3.7.8]	④ 外壁改修工事	1 施工数量調査	調査範囲 ※ 外壁改修範囲 ・ 図示の範囲 [1.6.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリート、モルタル、仕上げ塗材表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ※ 2 部 材料 Uカットシール材充填工法 ・ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ ポリマーセメントモルタル シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ※ 樹脂注入工法 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量 (mL/m) 備 考 ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0 以下 ※ 200～300 ※ ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3 未満 ※ 50～100 ※ 40 ・ ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5 未満 ※ 100～200 ※ 70 ・ 0.5以上～1.0 以下 ※ 150～250 ※ 130 ・ 注入材料 ※ 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 ・ コア抜きによる確認 ※ 行わない ・ 行う (抜き取り部の補修方法 :) ※ Uカットシール材充填工法 充填材料 品質・規格等 備 考 ・ シーリング材 ※1 成分形又は 2 成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 ※ シール工法 (ひび割れ幅 0.2mm未満) ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ※ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル 既存モルタル塗りの撤去 ・ 行う (※ 全面 ・ 図示の範囲) 材料 Uカットシール材充填工法 ・ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ ポリマーセメントモルタル シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法 モルタル (・ 現場調合材料 ・ 既調合材料) 既製目地材 ・ 適用する (形状 ※ 図示 ・) アンカーピンニング注入工法 ※ エポキシ樹脂 ・ ポリマーセメントスラリー アンカーピンの材質 ※ ステンレス SUS 304、呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの ・ 注入口付アンカーピンニング注入工法 ※ エポキシ樹脂 ・ ポリマーセメントスラリー 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス SUS 304、呼び径外径 6mm ・ ※ 樹脂注入工法 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量 (mL/m) 備 考 ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0 以下 ※ 200～300 ※ ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3 未満 ※ 50～100 ※ 40 ・ ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5 未満 ※ 100～200 ※ 70 ・ 0.5以上～1.0 以下 ※ 150～250 ※ 130 ・ 注入材料 ※ 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 ・ コア抜きによる確認 ※ 行わない ・ 行う (抜き取り部の補修方法 :) ※ Uカットシール材充填工法 充填材料 品質・規格等 備 考 ・ シーリング材 ※1 成分形又は 2 成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂		
	② 養生	既存部分の養生 ※ ビニルシート等 ・ [2.3.1] 既存家具等の養生 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生 ※ ビニルシート等 (保管場所) ・ 固定家具等の移動 ※ 行わない ・ 行う (図示)		6 改質アスファルトシート防水	改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2] ※改修標仕 表3.4.1から表3.4.3による ・ 図示 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類 及び厚さ ※改修標仕 表3.4.1から表3.4.3による ・ 図示 [3.4.2] 押え金物の材質及び形状寸法 材質 ※アルミニウム ・ 図示 形状 ※L-30×15×2.0 ・ 図示 屋根露出防水断熱工法の断熱材 (ノンフロンのもの [図]) [3.4.2] 材質 ※発泡プラスチック断熱材 (JIS A 9521) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 1 号又は 2 号の場合は、透湿係数を除くJIS A 9521 の規格に準ずるもの。 厚さ (mm) ・ 30 ・ 50 ・ 100 M3AS、POAS、M3ASI、M4ASI、POASI 工法の脱気装置 [3.4.3] ※ 設けない ・ 設ける (改質アスファルトシート製造所の指定による) M3ASI、M4ASI、POASI 工法における防湿層の設置 [表3.4.3(注)] ※ 設ける ・ 設けない		10 とい	といの材質 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 (RF-VP) [図] ・ 表面処理銅板 ・ ステンレス銅板 ・ アルミ既製品 とい受金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 ※ 改修標仕 表3.8.2による ・ 図示 ※ 多雪地域 (軒どいの取付け間隔は0.5m以下) 降雨の場合の養生 ・ 鋼管製といの防露 ・ 次の箇所は行わない () ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 ・ 第三種 掃除口 ※ 有り ・ 無し たてどい受け金物の取付け ※ 図示 ・ 標仕 13.5.3 (d) (2) による [3.8.2][表 3.8.1] [3.8.2][表 3.8.2] [3.8.3] [3.8.2][表 3.8.4] [3.8.3] [3.8.3]			3 防水改修工事	1 降雨等に対する養生方法 2 改修用ドレン 3 既存下地の補修及び処置 4 既存防水層表面の仕上げ塗装 5 アスファルト防水	※ 改修標仕3.1.3 (5) による。 ・ [3.1.3] ※ 設ける (POAS、POASI、POD、PODI、POS、POSI、POX工法の場合) [3.2.5(3)] (主防水材製造所の仕様による) ・ 設けない 補修箇所の形状、長さ、数量等 (※図示 ・) [3.2.6] POS工法及びPOSI工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置 [3.2.6(4) (h)] ※ 改修標仕 3.2.6(4) (f) (g) ①～③による。 桟台回り等の欠損部及び防水層末端部の納まり部 (※図示 ・) [3.2.6(6)] 既存露出防水層表面仕上塗装の除去 (M4AS、M4ASI、M4C、M4DI 工法) [3.2.6(3) (f)] ※ 除去する ・ 除去しない 既存塗膜防水層の表面仕上塗装の除去 (L4X工法) [3.2.6(3) (h)] ※ 除去する ・ 除去しない [3.3.2、3][表 3.1.1][表 3.3.3～10] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 保護防水 ・ P 1 B ・ P 1 B I ・ P 2 A I ・ P 2 A ・ M 4 C 露出防水 ・ M 3 D ・ P O D ・ P O D I ・ M 3 D I ・ M 4 D I 屋内防水 ・ P 1 E ・ P 2 E ・ E-1 ※E-2 (保護層は図示による) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※ 改修標仕 表3.3.3から表3.3.9による ・ 図示 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※ 改修標仕 表3.3.3から表3.3.9による ・ 図示 押え金物の材質及び形状寸法 [3.3.2] 材質 ※アルミニウム ・ 図示 形状 ※L-30×15×2.0 ・ 図示 M3D、POD、PODI、M3DI、M4DI 工法の脱気装置 [3.3.3] ※ 設けない ・ 設ける (アスファルトルーフィング類製造所の指定による) 断熱工法の断熱材 (ノンフロンのもの [図]) [3.3.2] 屋根保護防水断熱工法の断熱材の材質及び厚さ 材質 ※押出法ウレタンフォーム断熱材 3 種 b A (軒/層付き) (JIS A 9521) 厚さ (mm) ・ 30 ・ 50 ・ 100 屋根露出防水断熱工法の断熱材の材質及び厚さ 材質 ※発泡プラスチック断熱材 (JIS A 9521) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 1 号又は 2 号の場合は、透湿係数を除くJIS A 9521 の規格に準ずるもの。 厚さ (mm) ・ 30 ・ 50 ・ 100 絶縁用シート 屋根保護防水密着工法または根保護防水絶縁工法の絶縁用シート 材質・厚さ (mm) ・ ポリエチレンフィルム 厚0.15mm以上 ・ 図示 ・ フラットヤーンクロス 70g/m程度 ・ 図示 屋根保護防水密着断熱工法または屋根保護防水絶縁断熱工法の絶縁用シート 材質・厚さ (mm) ※フラットヤーンクロス 70g/m程度 ・ 図示
	③ 仮設工事	1 降雨等に対する養生方法 2 改修用ドレン 3 既存下地の補修及び処置 4 既存防水層表面の仕上げ塗装 5 アスファルト防水	※ 改修標仕3.1.3 (5) による。 ・ [3.1.3] ※ 設ける (POAS、POASI、POD、PODI、POS、POSI、POX工法の場合) [3.2.5(3)] (主防水材製造所の仕様による) ・ 設けない 補修箇所の形状、長さ、数量等 (※図示 ・) [3.2.6] POS工法及びPOSI工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置 [3.2.6(4) (h)] ※ 改修標仕 3.2.6(4) (f) (g) ①～③による。 桟台回り等の欠損部及び防水層末端部の納まり部 (※図示 ・) [3.2.6(6)] 既存露出防水層表面仕上塗装の除去 (M4AS、M4ASI、M4C、M4DI 工法) [3.2.6(3) (f)] ※ 除去する ・ 除去しない 既存塗膜防水層の表面仕上塗装の除去 (L4X工法) [3.2.6(3) (h)] ※ 除去する ・ 除去しない [3.3.2、3][表 3.1.1][表 3.3.3～10] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 保護防水 ・ P 1 B ・ P 1 B I ・ P 2 A I ・ P 2 A ・ M 4 C 露出防水 ・ M 3 D ・ P O D ・ P O D I ・ M 3 D I ・ M 4 D I 屋内防水 ・ P 1 E ・ P 2 E ・ E-1 ※E-2 (保護層は図示による) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※ 改修標仕 表3.3.3から表3.3.9による ・ 図示 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※ 改修標仕 表3.3.3から表3.3.9による ・ 図示 押え金物の材質及び形状寸法 [3.3.2] 材質 ※アルミニウム ・ 図示 形状 ※L-30×15×2.0 ・ 図示 M3D、POD、PODI、M3DI、M4DI 工法の脱気装置 [3.3.3] ※ 設けない ・ 設ける (アスファルトルーフィング類製造所の指定による) 断熱工法の断熱材 (ノンフロンのもの [図]) [3.3.2] 屋根保護防水断熱工法の断熱材の材質及び厚さ 材質 ※押出法ウレタンフォーム断熱材 3 種 b A (軒/層付き) (JIS A 9521) 厚さ (mm) ・ 30 ・ 50 ・ 100 屋根露出防水断熱工法の断熱材の材質及び厚さ 材質 ※発泡プラスチック断熱材 (JIS A 9521) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 1 号又は 2 号の場合は、透湿係数を除くJIS A 9521 の規格に準ずるもの。 厚さ (mm) ・ 30 ・ 50 ・ 100 絶縁用シート 屋根保護防水密着工法または根保護防水絶縁工法の絶縁用シート 材質・厚さ (mm) ・ ポリエチレンフィルム 厚0.15mm以上 ・ 図示 ・ フラットヤーンクロス 70g/m程度 ・ 図示 屋根保護防水密着断熱工法または屋根保護防水絶縁断熱工法の絶縁用シート 材質・厚さ (mm) ※フラットヤーンクロス 70g/m程度 ・ 図示		7 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 仕上げ塗料等 使用分類 ・ P O S 工法 屋根 (2) ・ S-F1 ・ S-F2 7カリクリン系 ※非歩行 ・ P O S I 工法 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ シルバー ・ S 4 S 工法 ・ SI-F1 ・ SI-F2 ・ S 4 S I 工法 ・ SI-M1 ・ SI-M2 ・ S 3 S 工法 ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S 3 S I 工法 ・ SI-F1 ・ SI-F2 ・ M 4 S 工法 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ M 4 S I 工法 ・ P 1 S 工法 既存防水層 (立上り部等) の撤去 [3.1.4] (POS (機械)、POSI (機械)、M4S、M4SI、S4S (機械)、S4SI (機械) の場合) ※ 除去する (ルーフィング類製造所の仕様による) ・ 除去しない ルーフィングシート (JIS A 6008) の種類及び厚さ [3.5.2] ※改修標仕 表3.5.1から表3.5.2による ・ 図示 絶縁用シート [3.5.2] 材質 ※発泡ポリエチレンシート ・ 図示 固定金具の材質及び寸法形状 [3.5.2] 材質 ※ステンレス銅板 ・ 防錆処理した銅板 ・ 図示 厚さ (mm) ※0.4 ・ 断熱工法の断熱材 (ノンフロンのもの [図]) [3.5.2] 機械式固定工法の断熱材の材質及び厚さ 材質 ※発泡プラスチック断熱材 (JIS A 9521) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 1 号又は 2 号の場合は、透湿係数を除くJIS A 9521 の規格に準ずるものとし、ウレタンフォーム断熱材は適用しない。 厚さ (mm) ・ 30 ・ 50 ・ 100 接着工法の断熱材の材質及び厚さ 材質 ※発泡プラスチック断熱材 (JIS A 9521) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 1 号又は 2 号の場合は、透湿係数を除くJIS A 9521 の規格に準ずるものとし、ウレタンフォーム断熱材の場合は、密度及び熱伝導率が、JIS A 9521 の規格に準ずるものとする。 厚さ (mm) ・ 30 ・ 50 ・ 100 脱気装置の種類 [3.5.3] ※ 設けない ・ 設ける (ルーフィングシート製造所の指定による) 仕上塗料の種類、使用量 (種類 ・ 使用量 kg/m ²) [表3.5.1～2] ※ 設けない ・ 設ける (ルーフィングシート製造所の指定による) [表3.5.3] 屋内保護密着工法 (S-C1) の場合のモルタル塗り厚さ ※ () mm [3.5.4] プレキャストコンクリート下地の目地処理 ※図示 ・ [3.5.4] プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り (S-F1、SI-F1の場合) ※図示 ・ [3.5.4] 一般部のルーフィングシートの張付け (機械式固定工法の場合) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する ・ 適用しない 立上り部の保護モルタル 塗厚 ※7mm以下 ・		11 アルミニウム製笠木		(13.3.3) (表 3.9.1) 種 類 呼称肉厚 (mm) 表面処理 固定間隔 備 考 ・ 250形 1.6以上 ※ AB-1 又は 固定方法及び ・ 300形 1.8以上 B6-I 種 間隔は品質計 ・ 350形 2.0以上 ・ B8-2 種 画で定めたも ・ 100形 () の 木本体の製造所の仕様による。 板材折曲げ形の笠木本体幅及び板厚 ※ 図示 ・ [3.9.3] 工法 既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・) 下地補修の工法 ※ 図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示 建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する ・ 適用しない 折板けらば納め ※けらば包みによる方法 ・ 保証書 ※ 受注者及び施工業者連名で、保証書を提出すること。 保証期間 10年		12 折板葺	

東御市	社会資本整備総合交付金事業		DATE	2026.09	JOB NO.	2 6 4 9
	東御中央公園北側トイレ改修第 1 期工事		JOB NAME	—	PART	建築意匠
	改修工事特記仕様書 (2)		SHEET NAME	SCALE A3	—	SEET NO. B - 03

[illegible]

外部開口部に設置する重量シャッター 耐風圧強度（ ）pa 安全装置の設置箇所 急降下制御装置または急降下止装置の設置箇所 ・ 図示による ・ 図示による ・ 図示による 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない	スラット及びシャッターケース用銅板 銅板の種類 ・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯） ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯） めっきの付着量 ※I2又はF12 ・ ステンレス銅板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・	16 軽量シャッター 開閉方式 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用） 耐風圧強度（ ）pa 電動式の場合の安全装置 障害物感知装置の設置箇所 ・ 図示による スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯） めっきの付着量 ※ Z06又はF06 ・ ・ JIS G 3322（塗装溶融55％アルミニウム－亜鉛合金めっき銅板及び銅帯） めっきの付着量 ※ AZ90 ・ スラットの種類 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形	16 オーバーヘッドドア 区分、材料 セリシヨ材料 風圧力区分（Pa） 開閉方式 収納形式 ダクトレールの材料 ※ スチールタイプ ・ 125 ※ バラ式 ・ スチールド形 ・ 76にのみタイプ ・ 100 ・ チェン式 ・ ロケット形 ・ フレキシブルタイプ ・ 75 ・ 電動式 ・ ハイブリッド形 ・ 50 ・ バナナ形 電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所 ・ 図示（ ）	適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による ・ フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類 ・ 図示（※建具表 ・ ・ 型板ガラスの厚さによる種類 ・ 図示（※建具表 ・ ・ 網入板ガラス及び網入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類 ・ 図示（※建具表 ・ ・ 合わせガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類 ・ 図示（※建具表 ・ ・ 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称（呼び厚を含む）、特性による種類 ・ 図示（※建具表 ・ ・ 熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類 ・ 図示（※建具表 ・ ・ 複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性及び日射断熱性による区分、乾燥気体の種類 ○ 図示（※建具表 ・ ・ 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射断熱へい性及び耐久性の区分 ・ 図示（※建具表 ・ ・ 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類 ・ 図示（※建具表 ・	ガラス留め材及び溝の大きさ [5. 14. 2][5. 14. 3][図5. 14. 1] 建具の種類 ガラスの留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ※ シーリング材 ・ 建築用ガasket ※グレイジングチャンネル 樹脂製 ・ 建築用ガasket ・ グレイジングビート 鋼製及び鋼製軽量 ※ シーリング材 ・ ステンレス製 ※ シーリング材 ・
---	--	---	--	--	--

 材料等 [5. 14. 5] 表面形状 呼び寸法（mm） 厚さ（mm） 色調 クリア乳白 目地幅（mm） 平積み 曲面積み 伸縮調整目地位置 ○ 正方形 ○ 45×145 95 ・ ○ ※8～15 外側 ※15以下 内側 ※6以上 ・ ※6m以下ごとに幅10～25 ・ 図示 ・ 長方形 ・ ・ ・ ・ | 壁用金属枠及び補強材 ・ 設ける（形状 ・ 図示 ・ 力骨 材質 ※ステンレス鋼（SUS304） 寸法 ※径5. 5mm 形状 ※はしこ形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色（ ） シーリング材の種類（ ） 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ・ 図示による ・ 図示による | 工法 [5. 14. 5] 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する ・ 適用しない 木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔（ ） 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による | 29 ガラス用フィルム 用途による区分 記号 貼り面 性能値 ※ ガラス飛散防止フィルム GS ※ 内貼り ・ 外貼り 飛散防止性能A B ・ 日射調整フィルム SC ・ ・ ガラス貫通防止フィルム SF ・ 品質 JIS A5759 による | ⑥ 内装改修工事 | 1 改修範囲 [6. 1. 3] 既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示の範囲 | 2 既存床の撤去並びに下地補修 [6. 2. 2] ビニルシート等の除去 ※ 仕上げ材のみ（接着剤とも） ・ 下地モルタルとも（※ 図示の範囲 ・ 除去範囲全て） ・ 機械的除去工法 ・ 目荒工法 合成樹脂塗り床材の除去工法 改修後の床の清掃範囲 ※ 改修箇所の室内 | 3 既存壁の撤去並びに下地補修 [6. 3. 2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 図示 ・ モルタル塗り（塗り厚 25mm を超える場合の補強 ※ 行う ・ 行わない） | 4 木材一般 ㊄ [6. 5. 2] 木材の品質 木材の現場における含水率 ※A種 ・ B種 ※信州木材認証製品又は同等品（長野県産材） ・ 改修標準 6. 5. 2 ・ 市販品 ・ 保存処理木材を適用する箇所（ ） ・ 保存処理木材を適用する箇所（ ） 注1 間伐材、合 |

内装改修工事

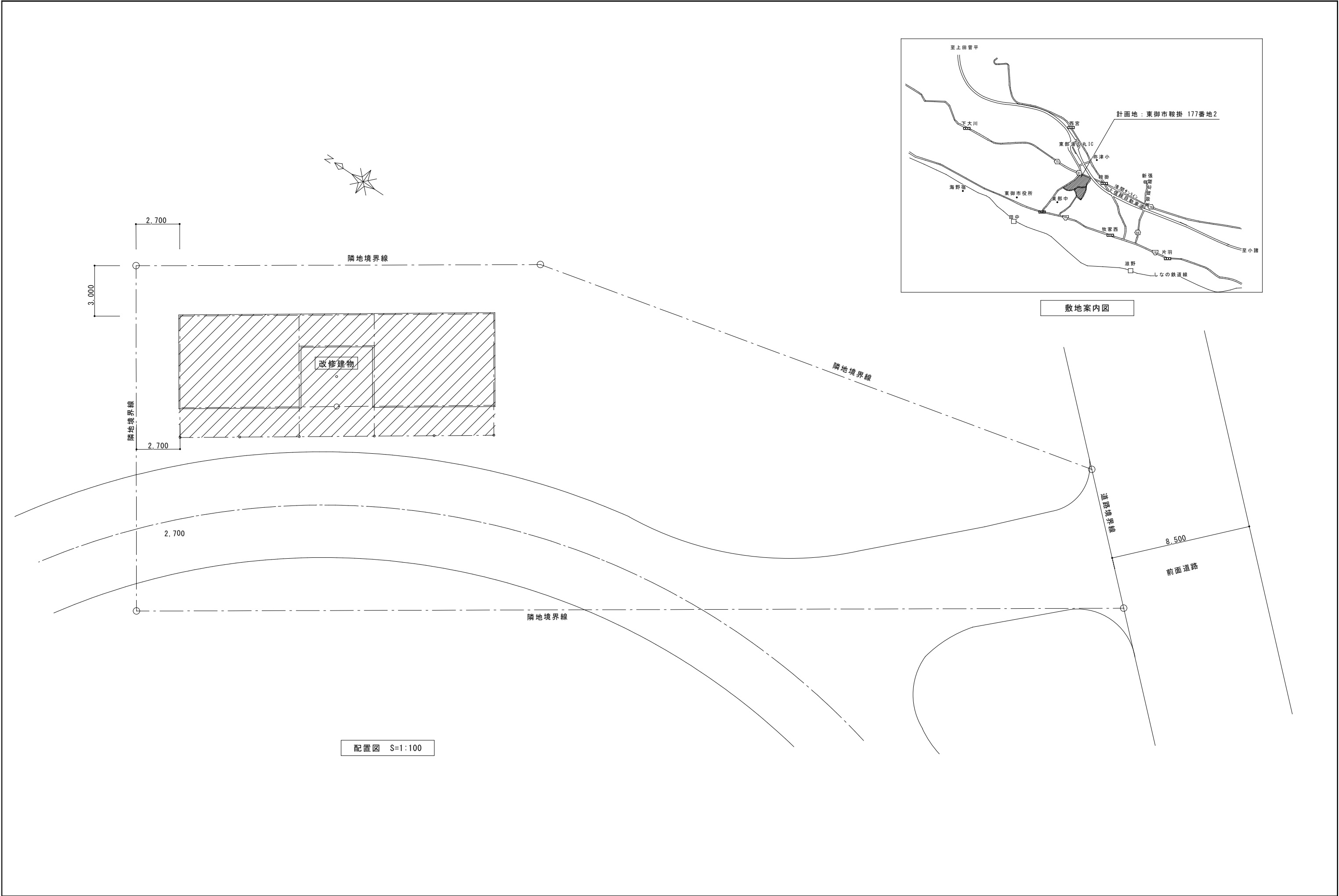
6	・ タフテッドカーベット					[6. 9. 2～3][表 6. 9. 2]				
	バイル形状	バイル長 (mm)	工 法	帯電性	備考					
	・ カットバイル	※ 5～7	・ ※ 全面接着工法	・ 適用する						
	・ ループバイル	※ 4～6	・ グリッパー工法	・ 適用しない						
	・ カット、ループ併用	・								
	下敷き材 （グリッパー工法の場合）									
	※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm									
	見切り、押え金物									
	・ 適用する (材質、形状等 ・ 図示 ・)									
	・ 適用しない									
23	・ タイルカーベット					[6. 9. 2～3][表 6. 9. 2]				
	種類	バイル形状	寸法	総厚さ (mm)	施工箇所	備考				
	※ 第一種 ・ 第二種	※ ループバイル	※ 500×500 ・	※ 6.5 ・						
	・ 第一種 ・ 第二種	・ カットバイル	※ 500×500 ・	※ 6.5 ・						
	・ 第一種 ・ 第二種	・ カット、ループ併用	※ 500×500 ・	※ 6.5 ・						
	見切り、押え金物									
	・ 適用する (材質、形状等 ・ 図示 ・)									
	・ 適用しない									
	タイルカーベットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・									
	平場 ※市松敷き ・模様流し ・									
階段 ・市松敷き ※模様流し ・										
24	合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量									
	※ F☆☆☆☆									
	種類	種 類	工 法	仕上げの種類	施工箇所	[6. 10. 3][表 6. 10. 4～8]				
	・ 厚膜型塗床材 (弾性ポリ樹脂系塗床材)		/	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ						
	・ 厚膜型塗床材 (塩化ビニ樹脂系塗床材)	・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂モルタル仕上げ		・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ						
	・ 薄膜型塗床材 (塩化ビニ樹脂系塗床材)		/	※ 平滑仕上げ						
	・									
	材料 水性アクリル系塗料 (※標準色 ・)									
	仕上種類 ※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ									
	塗布量 プライマー塗りのうえ主剤 2 回塗りとし、総塗布量は 0.5 kg/m ² 以上とする									
25	フローリングのホルムアルデヒド放散量									
	※改修標仕 6. 11. 2(2)による ・									
	単層フローリング					[6. 11. 2～7][表 6. 11. 1～5]				
	種 類	工 法	樹種	厚さ、幅及び長さ						
	・ フローリングボード1等	・ 釘留め(根太張り)	・	※ 改修標仕 表6. 11. 1による ・						
		・ 釘留め(直張り)	・	※ 改修標仕 表6. 11. 3による ・						
		※ 接着工法	・	※ 改修標仕 表6. 11. 5による ・						
	・ フローリングボード1等	※ 接着工法	・	・						
	複合フローリング					[6. 11. 2～7][表 6. 11. 1～5]				
	種 類	工 法	樹種	厚さ、幅及び長さ						
26	接着工法の場合の不陸緩衝材									
	※合成樹脂発泡シート ・									
	種別	[6. 12. 2]								
	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種									
	・ D 種 (畳床 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)									
	・ 樹脂量									
	・ 衝撃緩和型量									
	畳床 (JIS A 5902) ・ C 1 ・ C 2									
	種類									
	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種									
27	タフテッドカーベット					[6. 9. 2～3][表 6. 9. 2]				
	バイル形状	バイル長 (mm)	工 法	帯電性	備考					
	・ カットバイル	※ 5～7	・ ※ 全面接着工法	・ 適用する						
	・ ループバイル	※ 4～6	・ グリッパー工法	・ 適用しない						
・ カット、ループ併用	・									

27	せっこうボード、その他ボード及び合板張り			[6. 13. 2][表 6. 13. 1]				
	規格名称	種 類	厚さ (mm) 等					
	木質系合板	・ 硬質木毛セメント板  ・ 中質木毛セメント板  ・ 普通木毛セメント板  ・ 硬質木片セメント板  ・ 普通木片セメント板 	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ ・ 30 ・					
	繊維強化びんト板	・ けい酸カルシウム板	タイプ2 (無石綿)	・  6 ・ 8				
	火山性ガラス質複層板 (VSGボード)	・ 火山性ガラス質複層板						
	繊維版	・ ミッドランディングファイバーボード (MDF) ・ ハードボード (素地)  ・ ハードボード (化粧)  ・ ハードボード (化粧)  ・ インシュレーションボード 	・ 無研磨板 (・スラットボード・テンボード) ・ 研磨板 (・スラットボード・テンボード) ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ ・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ ・ A 級 (・天井仕上 ・ 内装仕上 ・) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・					
	パーティクルボード	・ 単板張りパーティクルボード  ・ 化粧パーティクルボード  ・ 化粧パーティクルボード (木目)  ・ 化粧せっこうボード (トランペラ)  ・ 吸音用あきせっこうボード (GP-P)	・ 無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ ・ 単板オフレイ ・ プラスチックオフレイ ・ 塗装 ・ 10 ・ 12 ・ フライバグ (※ 9 (不燃) ・ 12 ・) ・ 凹凸バグ (※ 9 (不燃) ・ 12 ・) ・ 25 ・ ・ グラス繊維吸音ボード 32K ・ 25 (ガラス繊維) ※ 12.5 (不燃) ・ 9.5 (準不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバチン模様) ・ 9.5 (不燃) ・ ※ 12.5 (不燃)  9.5 (準不燃) ・ 普通硬質せっこうボード (GP-H) ※ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ せっこう繊維ボード ・ 化粧せっこうボード (木目) 模様 (※ 柱目 ・ 板目) 専用下地材付き ・ 化粧せっこうボード (トランペラ) ・ 9.5 (準不燃) ・ 吸音用あきせっこうボード (GP-P) ・ 9.5 (準不燃)					
	石膏ボード製品	・ せっこうボード (GP-R) ・ 不燃積層せっこうボード	・ 12.5 (不燃) ・ 9.5 (準不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバチン模様) ・ 9.5 (不燃) ・ ※ 12.5 (不燃)  9.5 (準不燃) ・ 普通硬質せっこうボード (GP-H) ※ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ せっこう繊維ボード ・ 化粧せっこうボード (木目) 模様 (※ 柱目 ・ 板目) 専用下地材付き ・ 化粧せっこうボード (トランペラ) ・ 9.5 (準不燃) ・ 吸音用あきせっこうボード (GP-P) ・ 9.5 (準不燃)					
	MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量			[6. 13. 2]				
	※ F☆☆☆☆ ボード表面への化粧張仕上げの有無 ・ 有り (種類:) ・							
31	天井ボードの重ね張りの張り付け方法 (ロックワール吸音板を除く)			[6. 13. 3]				
	()							
	せっこうボードの目地工法			[6. 13. 3]				
	種類	・ 図示 (仕上げ表) による  継目処理工法						
	せっこうボードのエッジの種類 (突付け工法、目直し工法の場合) ・ 図示による							
	材料			[6. 13. 2]				
	種 類	規 格	防虫処理					
	・ 普通合板 	表面の樹脂名 () 板面の品質 () 厚さ (mm) ()	・ 行う ・ 行わない					
	・ 天然木化粧合板 	化粧板の樹脂名 () 厚さ (mm) () 化粧加工の方法 (・ オフレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () 厚さ (mm) ()	・ 行う ・ 行わない					
	・ 特殊加工化粧合板 	表面性能 () 厚さ (mm) ()	・ 行う ・ 行わない					
32	合板のホルムアルデヒド放散量			[6. 13. 2]				
	※改修標仕 6. 13. 2(2) (イ) のいずれかによる ・							
	合板の張付け ・ A 種 ・ B 種			[6. 13. 3][表 6. 13. 3]				
	ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・							
	種類	壁紙の種類		[6. 14. 2]				
	施工箇所	紙	繊維 (織物)	無機質	塩化ビニル	その他	防火性能	備 考
	図示	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
		・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
		・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
		・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
33	施工			[6. 14. 3]				
	モルタル面及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ			[表 7. 2. 4]				
	※ B 種 ・ A 種							
	コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ			[表 7. 2. 5]				
	※ B 種 ・ A 種							
	せっこうボード面の素地ごしらえ及びけい酸カルシウム板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ			[表 7. 2. 7]				
	※ B 種 ・ A 種							
	モルタル			[6. 15. 3]				
	既設目地材			[6. 15. 3]				
	・ 設けない							
34	床の目地			[6. 15. 6]				
	・ 設ける 目地割 ※ 2m 程度 (最大目地間隔 3m 程度)							
	・ 設ける 種類 ※ 押し目地 ・							
	・ 設けない							
	外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験			[6. 15. 6]				
	・ 行う ・ 行わない							
	50							
	30							
	20							
	10							

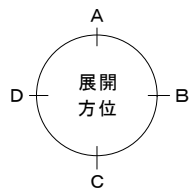
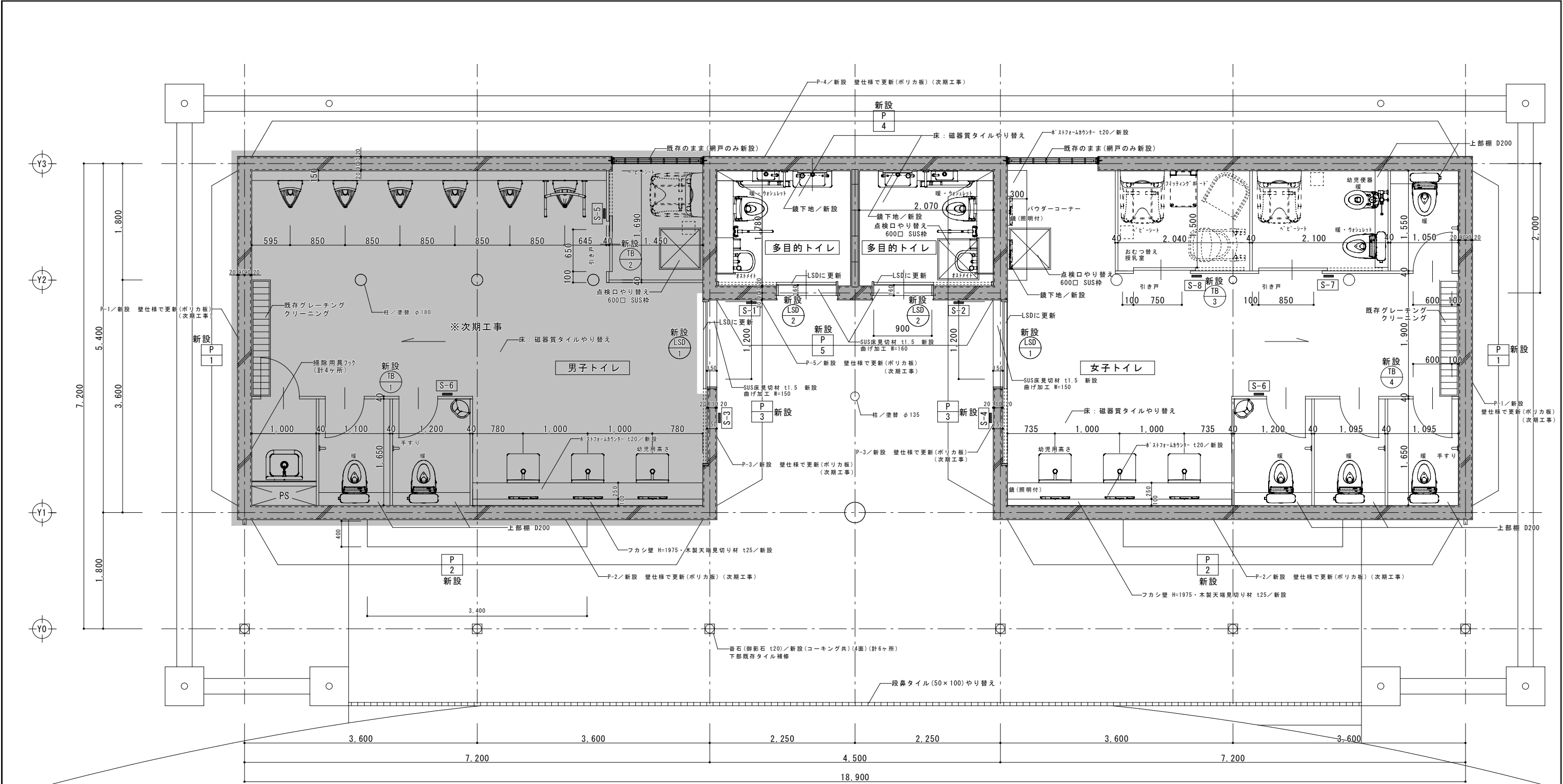
30	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地			[6. 16. 2]							
	位置 (※ 改修標仕 6. 16. 2) による ・ 図示による)										
	見本焼及び試験施工			[6. 16. 2]							
	見本焼 ・ 行う ※ 行わない										
	試験張り ・ 行う ※ 行わない										
	セメントモルタルによるタイル張り			[6. 16. 3]							
	タイルの形状、寸法等										
	施工箇所	種類	形状寸法 (mm)	吸水率区分 I 類 II 類 III 類	釉薬施釉 無釉 有 無	役物標準特注	色再生材適用 	耐凍害性有 無	耐滑り性有 無	備考	
	床		100口 	・	・	・ 	・ 	・ 	・ 	・	
				・	・	・	・	・	・	・	
既調合モルタル											
・ 既調合もモルタルの製造所の仕様による											
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法											
 高圧水洗による目荒し工法 (改修標仕 4. 3. 10(3) (イ) による)											
壁タイル張りの工法											
内外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り											
内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り											
有機系接着剤によるタイル張り											[6. 16. 4]
タイルの形状、寸法等											
施工箇所	種類	形状寸法 (mm)	吸水率区分 I 類 II 類 III 類	釉薬施釉 無釉 有 無	役物標準特注	色再生材適用 	耐凍害性有 無	耐滑り性有 無	備考		
			・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・		
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 外装タイルにおける目地詰め ・ 行う ・ 行わない 目地のシーリング材											
打継ぎ目地 ※ ポリウレタンシーリング材 ・ ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタンシーリング材 ・ 伸縮調整目地 ※ 変性シリコーンシーリング材 ・ その他の目地 ※ 変性シリコーンシーリング材 ・											
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法											
・ 高圧水洗による目荒し工法 (改修標仕 4. 3. 10(3) (イ) による)											
31 セルフレベリング材 塗り											[6. 17. 2][表 6. 17. 1]
種類 ・ せっこう系 ・ セメント系											
塗厚 ・ mm											
32 断熱材											[19. 9. 3]
断熱材名				種類 (記号)	厚さ (mm)	施工箇所					
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材				・	・						
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキ層なし)				※ A種2種 b ※ A種3種 b ・ A種1種 b c	・ ・ ・ 25						
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材				・	・						
・ フェノールフォーム断熱材				※ A種1種	・						
フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量											
※ F☆☆☆☆ ・											
断熱材現場発泡工法											[19. 9. 4]
断熱材の種類 ・ A 種 I ・ A 種 IH											
吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 50											
施工箇所 ・ 図示による ・											
市販品											
材 質		表面仕上げ		性 能	幅 (mm)	備 考					
※ アルミニウム製		※ 焼付け塗装品		準不燃品	※ 200	回り縁は隠付きとし 製造所の標準品とする。					
		・ アルマイト処理品									
・		・		・	・ 100	・					
34 フリーアクセスフロア											[20. 2. 2]
材料等											
施工箇所	構造	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材		備 考			
	・ 支柱調整式 ・ 置敷式	・	・	・ 1. 0 G ・ 0. 6 G	・ 3. 000 N ・ 5. 000 N	・ 帯電防止床材  ・ 防静電マット					
帯電防止性能 ・ U 値 (クラス1) ・ U 値 (クラス2) 漏洩抵抗 ・ R ≧ 1×10 ⁹ Ω											
耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の試験方法											
※ 標仕 20. 2. 2(2) (イ) による ・											
耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の寸法精度											
※ 標仕 20. 2. 2(2) (イ) による ・											
材料等											[20. 2. 3]
構造形式による種類		構成基材の種類		h ¹ /h ² 表面の仕上げ		遮音性能 (dB/500Hz)					
・ スラット式 (内蔵)		スラット		h ¹ /h ²		※ 防音樹脂焼付け又は防音樹脂焼付け ・ 壁紙張り					
・ スラット式 (露出)		スラット		h ¹ /h ²		・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ・ 36					
・ スラット h ¹ /h ² 式		スラット		h ¹ /h ²							
・ h ¹ /h ² 式		h ¹ /h ²		h ¹ /h ²							
43 ロールスクリーン											[20. 2. 15]
材料等											
材種	品質	遮光性能	操作方式	幅、高さ	取付箇所						
・ ポリエステル	・	・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級	・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式	・ 図示 ・	・ 図示 ・						
縦形ブラインド											
幅、高さ ・ 図示による ・											
開閉方式 ・ 片引き ・ 両開き											
操作方式 ※ 2 本操作コード方式 ・ 1 本操作コード方式											
スラットの材質 ・ 焼付け塗装仕上げのアルミスラット											
・ 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット											
スラットの幅 () mm											
44 カーテン											[2. 3. 1][5. 1. 6] [20. 2. 14]
・ 既存再使用する (養生方法:)											
・ 新設する (※ 防火加工品)											
材料等											
形式		開閉操作方式	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考					
・ シングル	・ 片引き	・ 手引き	・ つまみひだ (三つ山ひだ、二つ山ひだ)	※ 防火加工							
・ ダブル	・ 引分け	・ 電動	・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレーンひだ	・							

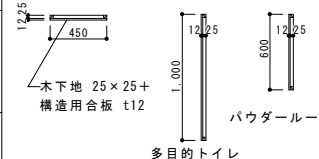
パネル内に取付る建具					
・ あり (寸法及び形状 ・ 図示 ・)					
・ なし					
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量					
※ F☆☆☆☆ ・					
材料等					[20. 2. 4]
操作方法による種類		圧縮装置の操作方法	h ¹ /h ² の表面材		遮音性 (dB/500Hz)
			材質	仕上げ	
・ 手動式		・ フック式	※ 鋼板	※ 焼付塗装 ・ 壁紙張り	・ 36未満 ・ 36以上
・ 電動式		・ ハンドル式			
・ 部分電動式					
ハンガーレールの取付け下地の補強					
※ 標仕 20. 2. 4(3) (イ) による ・ 図示による					
パネルをランナーに取り付ける部品					
※ 標仕 20. 2. 4(3) (イ) による ・ 図示による					
ハンガーレール					
※ 標仕 20. 2. 4(3) (イ) による ・ 図示による					
ランナー					
※ 標仕 20. 2. 4(3) (イ) による ・ 図示による					
あと施工アンカー					
・ 使用する					
種類: 材質: 寸法:					
・ 使用しない					
材料等					[20. 2. 5]
パネル表面材の材質		脚部の種類		ドアエッジの材質	
・ 防音樹脂系化粧板		※ 幅木タイプ		・ アルミニウム製	
・ 防音樹脂系化粧板		※ 足金物タイプ		・ ステンレス製 ・ 表面材と同材	
材料等					[20. 2. 6]
種 別	表面仕上げ	直径 (mm)	施工箇所	備考	
※ 集成材	・ グリッド	※ 35 ・ 45		・ (市販品)	
・ ステンレス	・ HL				
・ 鋼製	・ EP-G ・ SDP				
・ ビニル製ハードレール					
材料等					[20. 2. 7]
材 種		形状	寸法 (mm)	取付工法	
・ ステンレス製 (SUS304)		・ ひも型	・	※ 接着工法 ・ 埋込み工法	
・ 真鍮製押出型材		・ タイヤ型	・		
・ アルミニウム製押出型材					
材料等					[20. 2. 9]
種 類		寸法 (mm)	色 彩	備 考	
・ 黒板	※ 焼付け ・ ほうろう		※ 緑 ・ 黒	※ 平面 ・ 曲面 ・ スクリーン引分	
・ ホワイトボード			※ 白		
材料等					[20. 2. 11]
・ 衝突防止表示					
形状、寸法 (・ 30φ)					
材質 (・ ステンレス製)					
・ 非常用進入口等の表示等					
※ 消防法に適合する市販品 ・					
室名札、ビクトグラフ、案内板等の形状寸法材質色、書体、印刷等の種別、取付け形式					
・ 図示による					
材料等					[20. 2. 14]
・ 横形ブラインド					
種類		※ギア式	・ コード式	・ 操作棒式	
幅、高さ		・ 図示による	・		
スラットの幅		※ 25mm	・		
材質					
スラット		※アルミニウム合金製		・	
ヘッドボックス		※鋼製		・	
ボトムレール		※鋼製		・	
縦形ブラインド					
幅、高さ ・ 図示による ・					
開閉方式 ・ 片引き ・ 両開き					
操作方式 ※ 2 本操作コード方式 ・ 1 本操作コード方式					
スラットの材質 ・ 焼付け塗装仕上げのアルミスラット					
・ 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット					
スラットの幅 () mm					
43 ロールスクリーン					[20. 2. 15]
材料等					
材種	品質	遮光性能	操作方式	幅、高さ	取付箇所
・ ポリエステル	・	・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級	・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式	・ 図示 ・	・ 図示 ・
材料等					[2. 3. 1][5. 1. 6] [20. 2. 14]
・ 既存再使用する (養生方法:)					
・ 新設する (※ 防火加工品)					

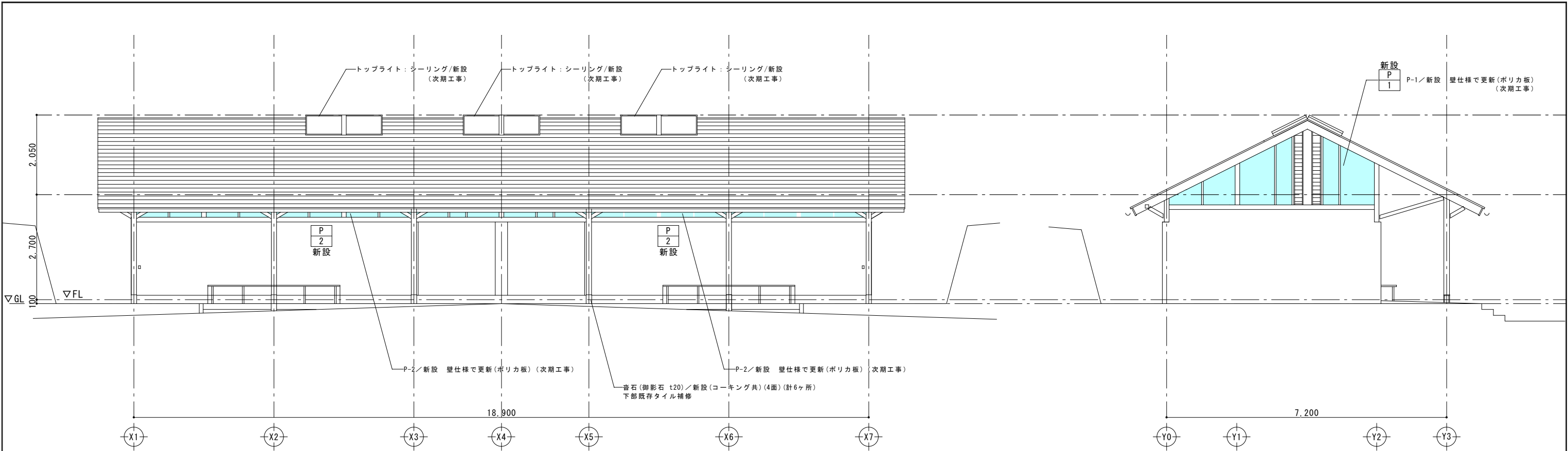
⑥ 内装改修工事	45	カーテンレール	既存利用 ・ 既存再使用する ・ 新設する		4	錆止めの塗料塗り		9	環境配慮改修工事	1	石綿含有建材の除去後の仕上げ	石綿含有建材の除去後の仕上げ ※外壁改修工事参照	[9. 1. 1]	8	外断熱改修工事	断熱材の種類 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム（ノンフロン ☒） ・ 押出法ポリスチレンフォームA種（ノンフロン ☒） ・ 硬質ウレタンフォーム（ノンフロン ☒） ・ フェノールフォーム ・ ロックウール ・ グラスウール	材 料 名 厚さ (mm)			
		材料等 レール及びブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 レールの材料による区分 ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ ステンレス製 レールの仕上げ ※アルマイト レールの形状 ※角形 カーテンの付属物 フック（ひるかん） ※鋼製 ・ 樹脂製	(20. 2. 16)							2	石綿粉じん濃度測定 ・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）	アスベスト粉じん濃度測定 ・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）	[9. 1. 1]			既存外壁の仕上材の撤去 ・ 有り ・ なし 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様 ・ 欠損分の改修 ・ 行う ・ 行わない 通気層 ・ 有り（ mm） ・ なし 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する ・ 適用しない 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の手承認を受ける 特記無き事項は、製造所の仕様による。	[9. 2. 2]	[9. 2. 2]	[9. 2. 3]	[9. 2. 4]
	46	ブラインドボックス及びカーテンボックス	既存利用 ・ 既存再使用する ・ 新設する																	
		溝幅×深さ (mm) 材質 ・ 集成材（仕上げ： OSDL） ・ アルミニウム製 押出し型材（市販品） 種別（標仕 表14. 2. 1） ・ BC-1種 BC-2種 色合い ・ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） ・ 鋼製（仕上げ： UCL）	溝幅×深さ (mm) 材質 ・ 集成材（仕上げ： OSDL） ・ アルミニウム製 押出し型材（市販品） 種別（標仕 表14. 2. 1） ・ BC-1種 BC-2種 色合い ・ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） ・ 鋼製（仕上げ： UCL）	溝幅×深さ (mm) 材質 ・ 集成材（仕上げ： OSDL） ・ アルミニウム製 押出し型材（市販品） 種別（標仕 表14. 2. 1） ・ BC-1種 BC-2種 色合い ・ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） ・ 鋼製（仕上げ： UCL）																
	47	天井点検口																		
		材 種 ・ アルミニウム製 ・	寸 法 ・ 450×450 ・ 600×600	形 式 ・ 一般型 ・	外 枠 ・ 縦線タイプ ・ 目地タイプ	内 枠 ・ 縦線枠タイプ ・ 目地タイプ														
	④⑥	床点検口																		
		材 種 ・ アルミニウム製 ・ ステンレス製	寸 法 ・ 450×450 ・ 600×600	形 式 ・ 一般型 ・ 密閉型 ・	備 考 ・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 鍵付き														
	49	屋内掲示板	枠の材質 ※ アルミニウム製 表面の材質 ※ 塩化ビニルシート張り ・																	
	50	洗面カウンター	材 種 ・ メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） 奥行き (mm) ・ 約 450 ・ 約 600																	
51	防煙垂れ壁	・ 固定式 材 質 ※ 網入り磨板ガラス ・ 網入り磨板ガラス ・ 可動式 種 類 ・ 垂直降下式（巻取り型） ・ 回転降下式 材 質 ※ 不燃布（不燃認定品） ・ 鋼板製又はアルミ製 高 さ (mm) ※ 500 ・ 800 ※ 500 ・ 800 備 考 ガイドレール ※ 固定式（壁埋込型） ・ 可動式（天井収納型） 表面仕上げ ※ 天井材張り ・	厚さ (mm) ※ 6. 8 ・	高 さ (mm) ※ 500 ・	備 考 アルミ製枠付き															
52	収納家具	降下機構 煙感知器連動及び主導開放装置（埋込型） 材質形状、寸法 ※ 図示による 合板類、集成材、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ ・																		
53	視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）	ブロックパターンは JIS T 9251 による 色彩は黄色を原則とする 屋 内 ※ 塩化ビニル製 ・ 磁器又はセラ質タイル（※ 300 ・ ） ・ レジンコンクリート製 屋 外 ※ レジンコンクリート製 ・ 磁器又はセラ質タイル（※ 300 ・ ）																		
7	① 材料 ② 下地調整 ③ 素地ごしらえ	屋内で使用するホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 種別 下地面の種類 木部 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 珪砂面、せっこうアスファルト面 コンクリート面（DP以外）、ALC板 珪砂面 コンクリート面（DP） 押出成形シート板面 せっこうアスファルト面、 その他のアスファルト面 種 別 不透明塗料塗りの場合 透明塗りの場合 耐候性塗料塗り（DP）の場合 上記以外の場合 ・ A種 ・ B種 ・ A種 ※ B種																		



	東御市			社会資本整備総合交付金事業	DATE 2026.09	JOB NO. 2 6 4 9
				東御中央公園北側トイレ改修第1期工事	SCALE A1 1 : 100	PART 建築意匠
				配置図・敷地案内図	SCALE A3 1 : 200	SEET NO. B - 09

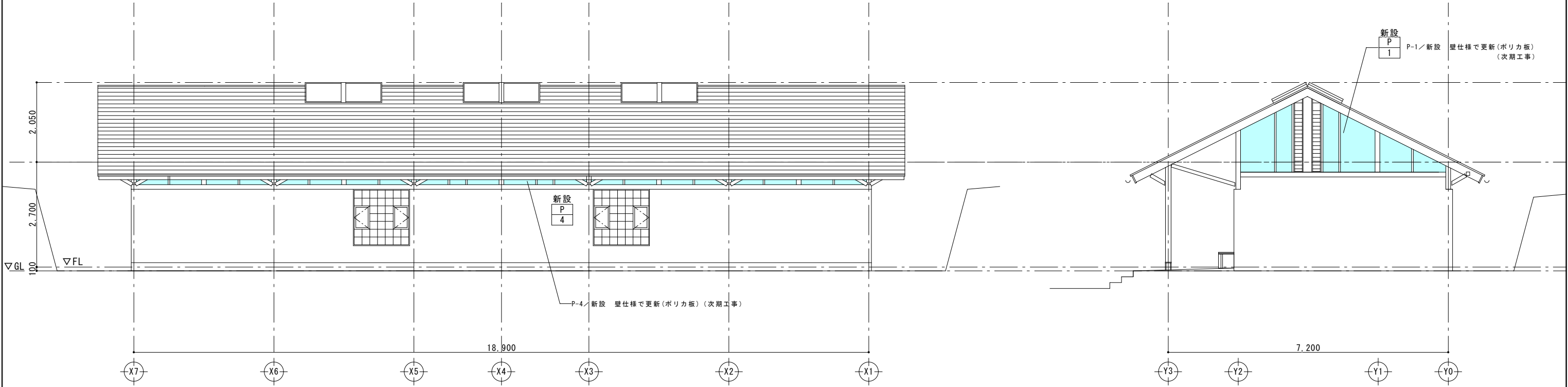


・ 床仕上: 新設範囲	・ I型手摺(設備工事)の ブース部分の手摺設置補強は 手摺取付用木芯とする(建築工事)	・ t=20 ホストフォ-ムライニング: KAA同等品 (上部欄共)	・ 多目的トイレ/鏡下地 新設(計2ヶ所) ・ パウダールーム/鏡下地 新設(計2ヶ所)
・ 既存和便器部の床開口穴埋めは 7ヶ所配筋の上、無収縮モルタル詰め 新設とする(375×725) 7ヶ所	・ 小便器用手摺(設備工事)の 設置補強は t=12合板下地とする	・ サイン新設 図中(S-*)表記 200×200・150×150 SUS製・アクリル製	 パウダールーム
・ 給排水管の穴埋めは、無収縮モルタル詰め(建築工事)	・ ホステ-リア-(設備工事)の ブース部の設置補強は木芯とする(建築工事)	・ LSD改修部は砕埋めモルタル補修の上 建具新設とする。	多目的トイレ



西面立面図 S=1:50

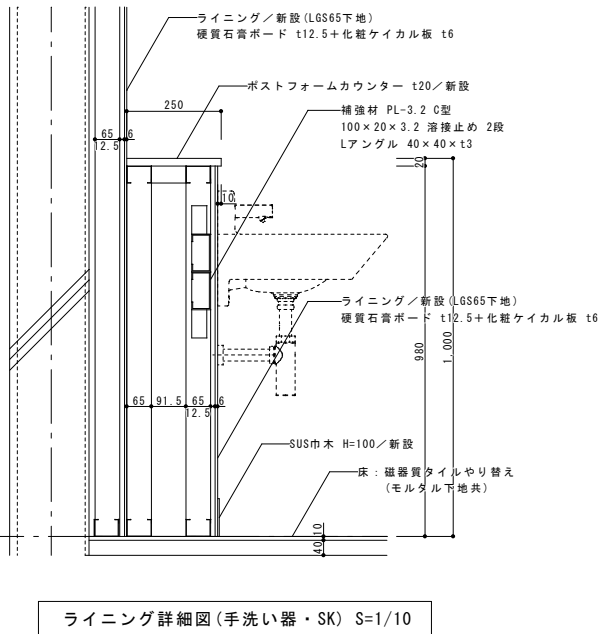
北面立面図 S=1:50



東面立面図 S=1:50

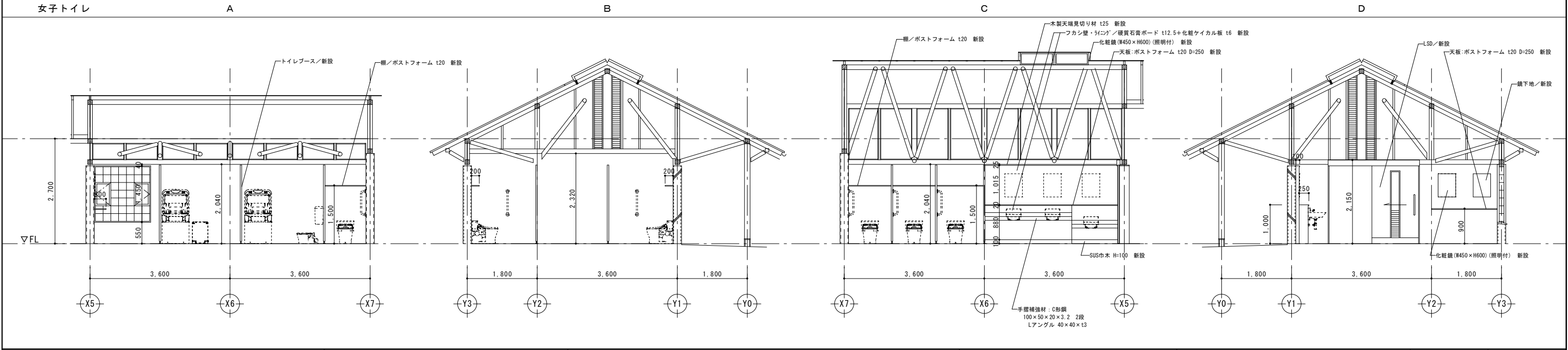
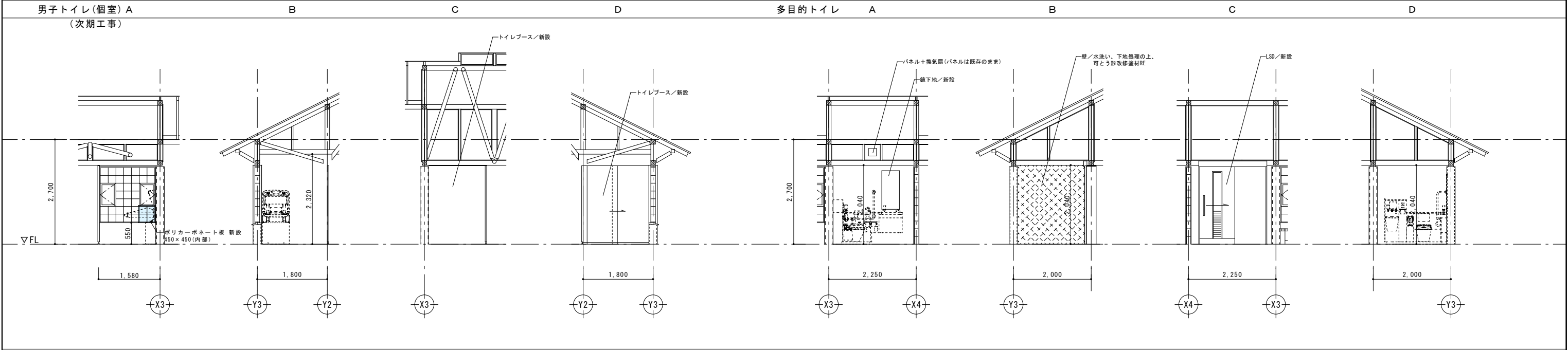
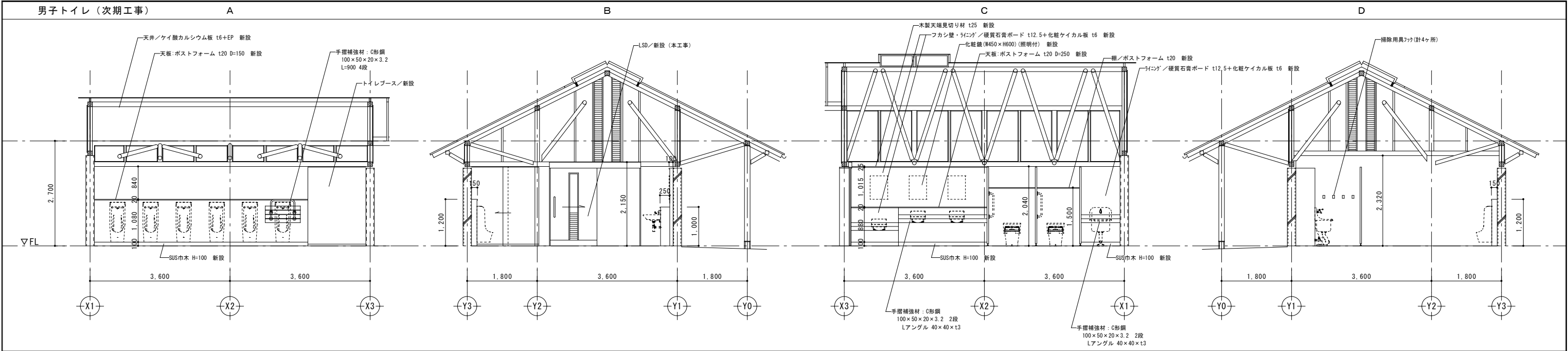
南面立面図 S=1:50

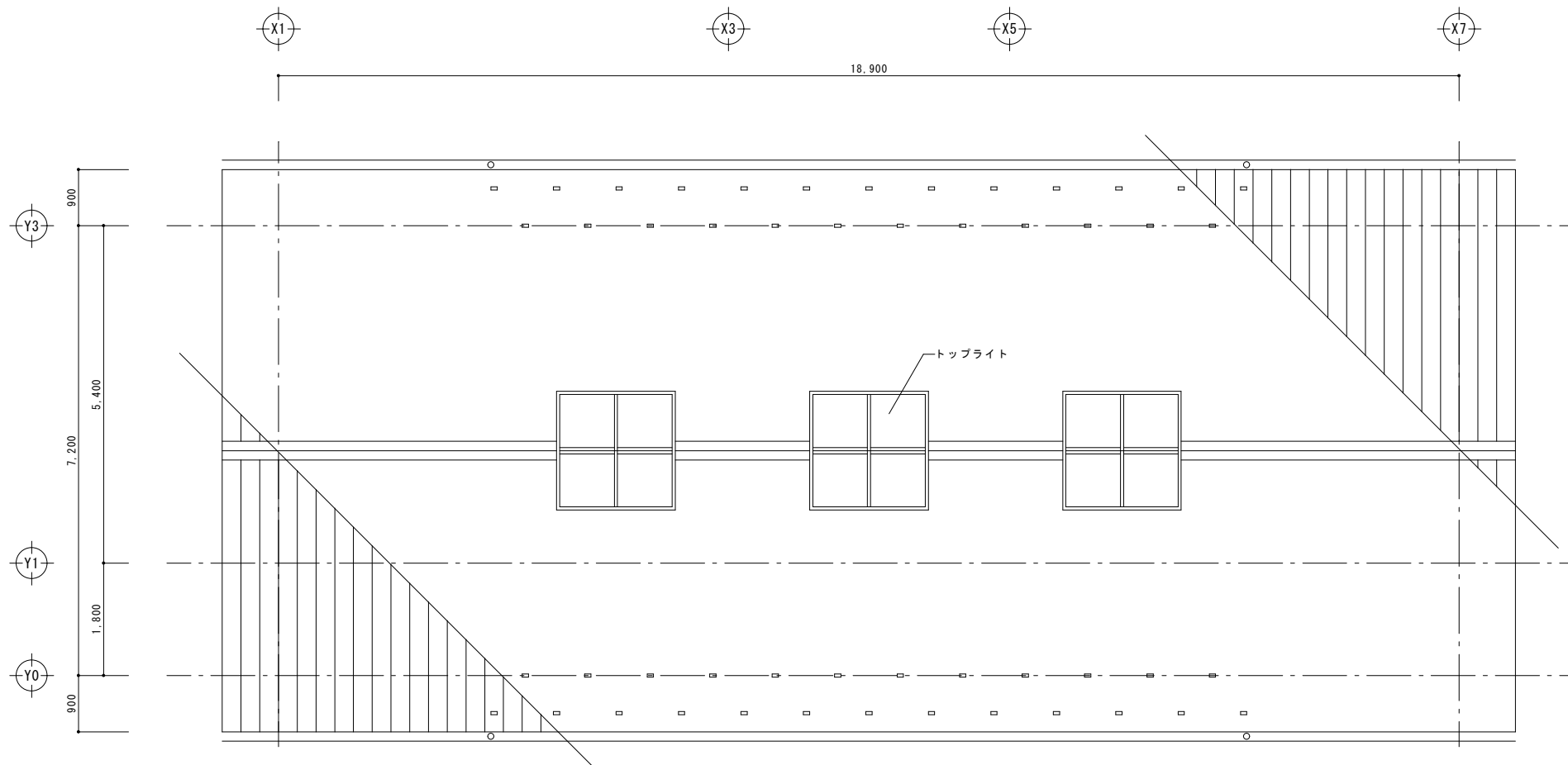
	東御市			社会資本整備総合交付金事業	DATE 2026.09	JOB NO. 2 6 4 9
				東御中央公園北側トイレ改修第1期工事	SCALE A1 1 : 50	PART 建築意匠
				改修立面図	SCALE A3 1 : 100	SEET NO. B - 12



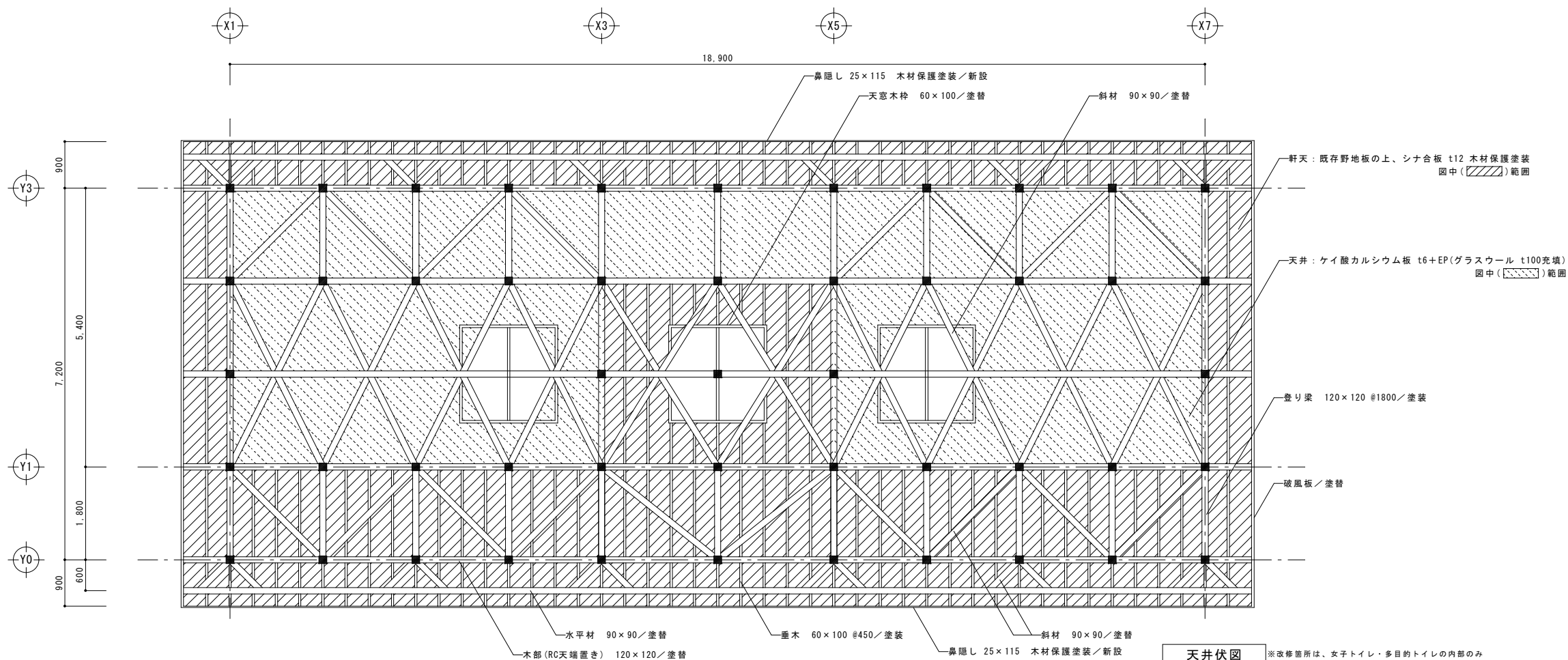
ポリカ壁リスト S=1/50 (次期工事)

東御市





屋根伏図



天井伏図

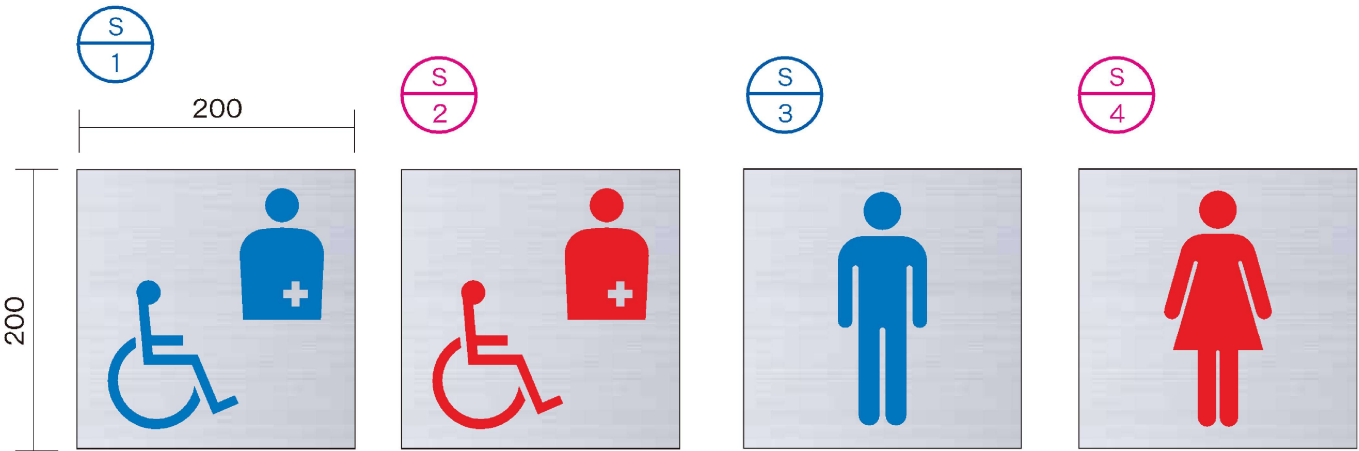
※改修箇所は、女子トイレ・多目的トイレの内部のみ

東御市

社会資本整備総合交付金事業
東御中央公園北側トイレ改修第1期工事

DATE	2026.09	JOB NO.	2 6 4 9
SCALE A1	1 : 50	PART	建築意匠
SHEET NAME	改修天井伏図・屋根伏図	SCALE A3	1 : 100
		SEET NO.	B - 15

SUS HL t1.0mm シルク印刷



アクリル(白)マット t3mm シルク印刷



※次期工事

× 2

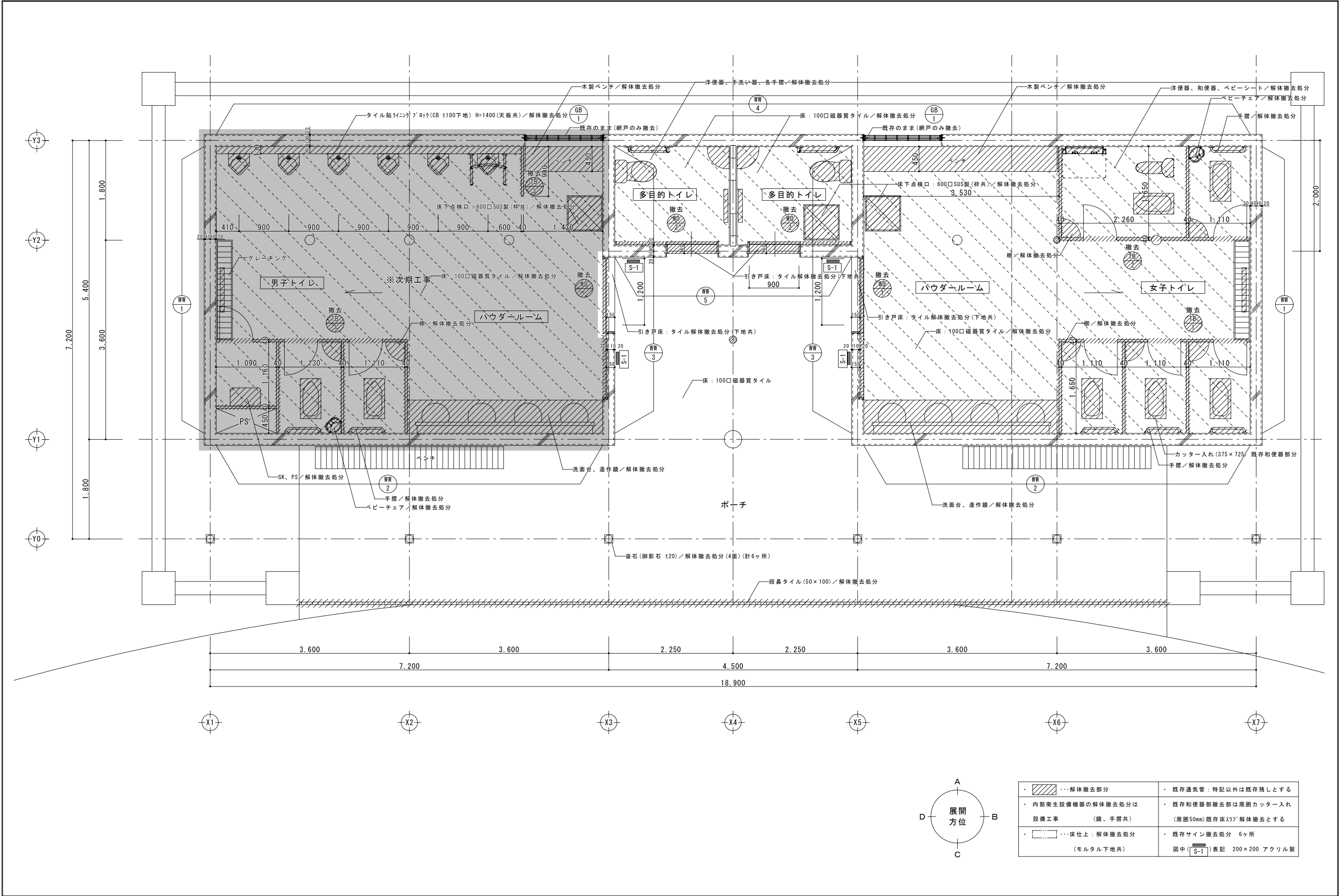
※ 1箇所は次期工事

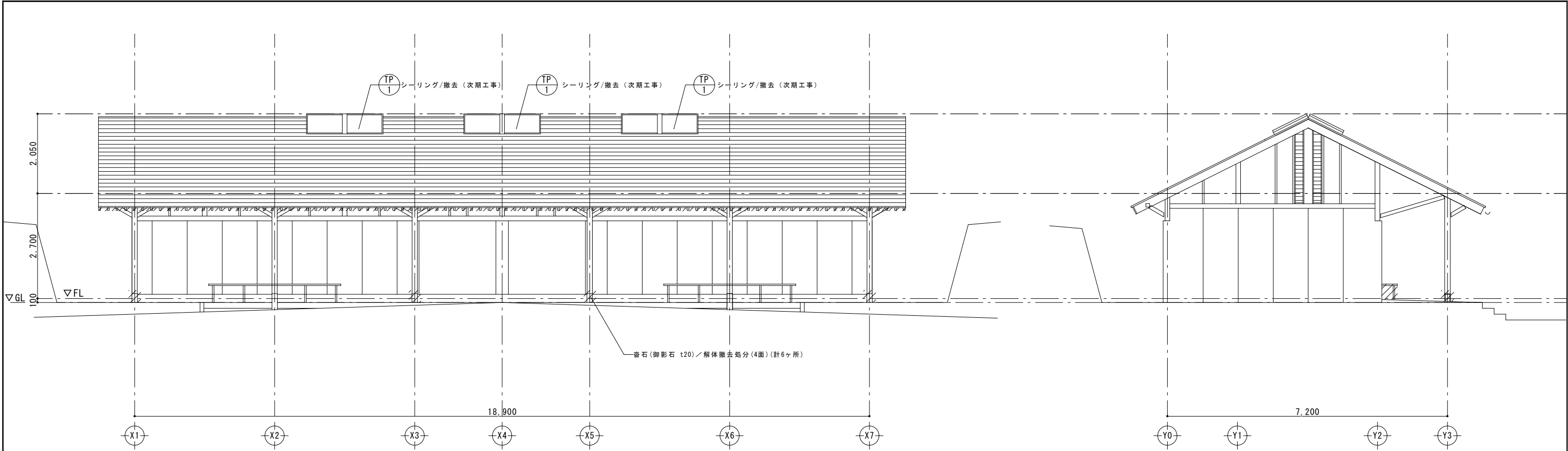
シルク印刷 刷り色

青: DIC182

赤: DIC156

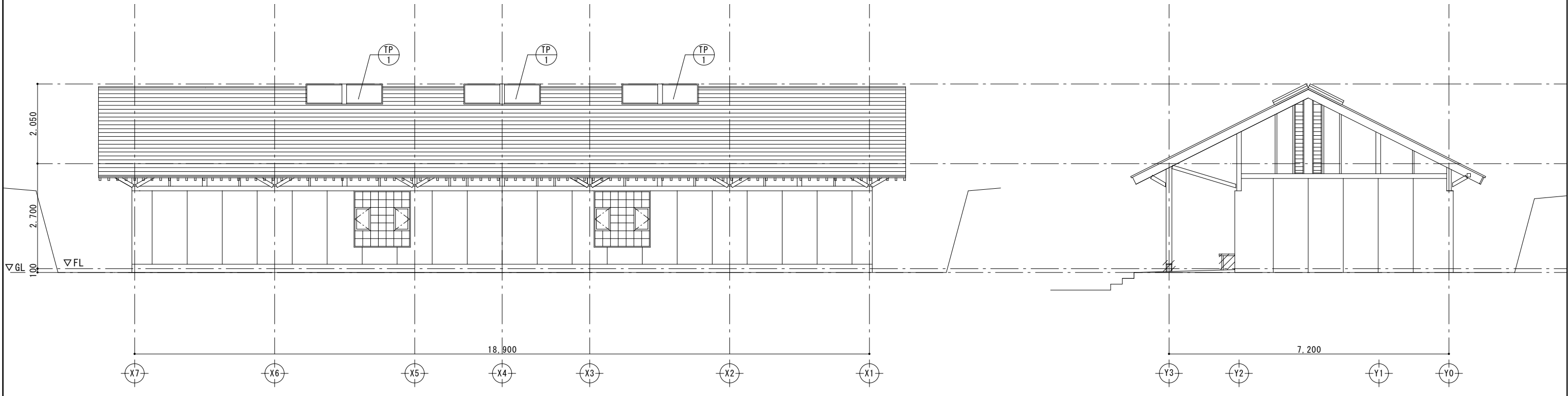
黒





西面立面図 S=1:50

北面立面図 S=1:50

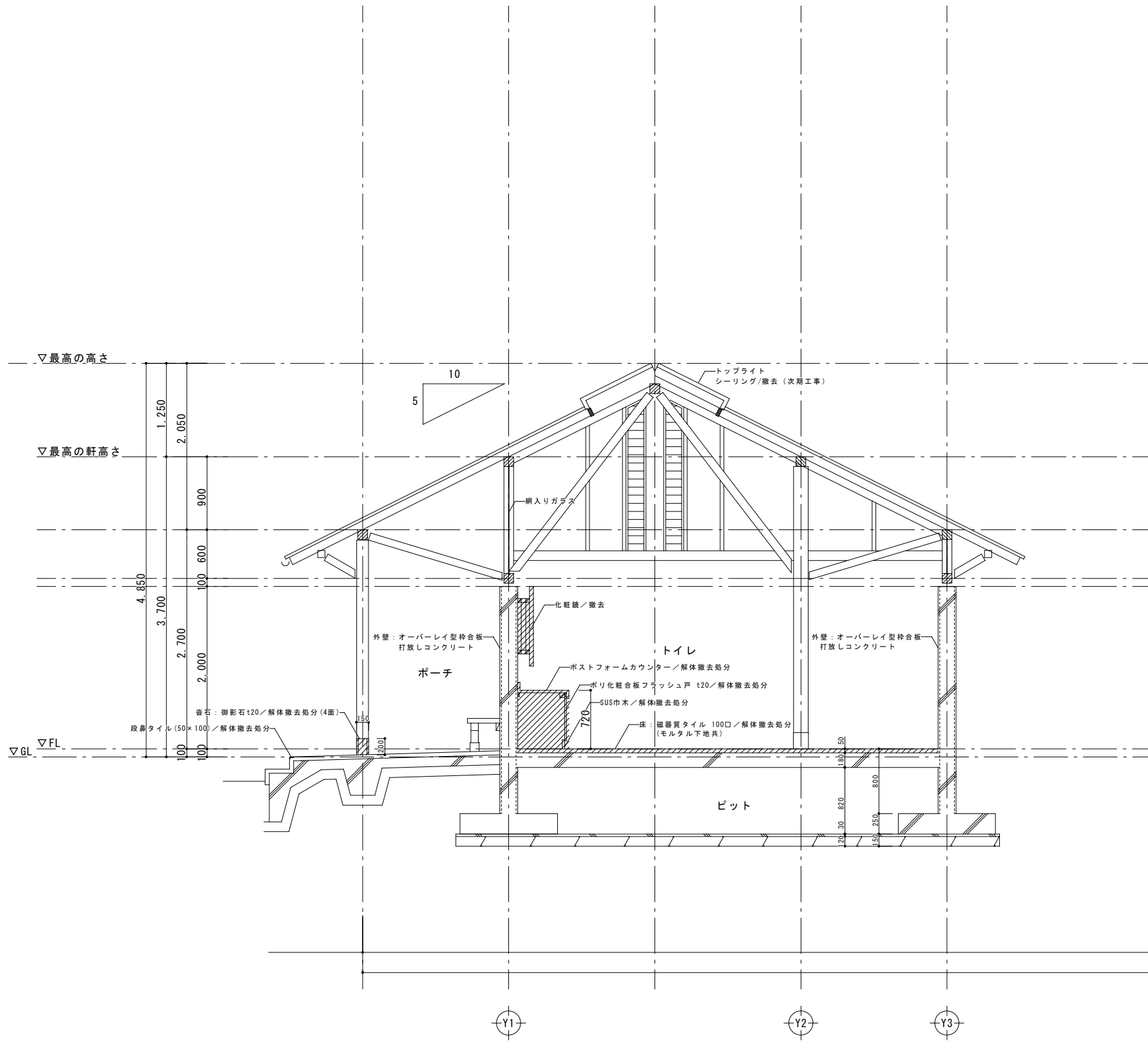


東面立面図 S=1:50

南面立面図 S=1:50

・  ...解体撤去部分

	東御市			社会資本整備総合交付金事業	DATE 2026.09	JOB NO. 2 6 4 9
				東御中央公園北側トイレ改修第1期工事	SCALE A1 1:50	PART 建築意匠
				解体立面図	SCALE A3 1:100	SEET NO. K-02



・  ...解体撤去部分

東御市

社会資本整備総合交付金事業

DATE 2026.09

JOB NO. 2 6 4 9

JOB NAME 東御中央公園北側トイレ改修第1期工事

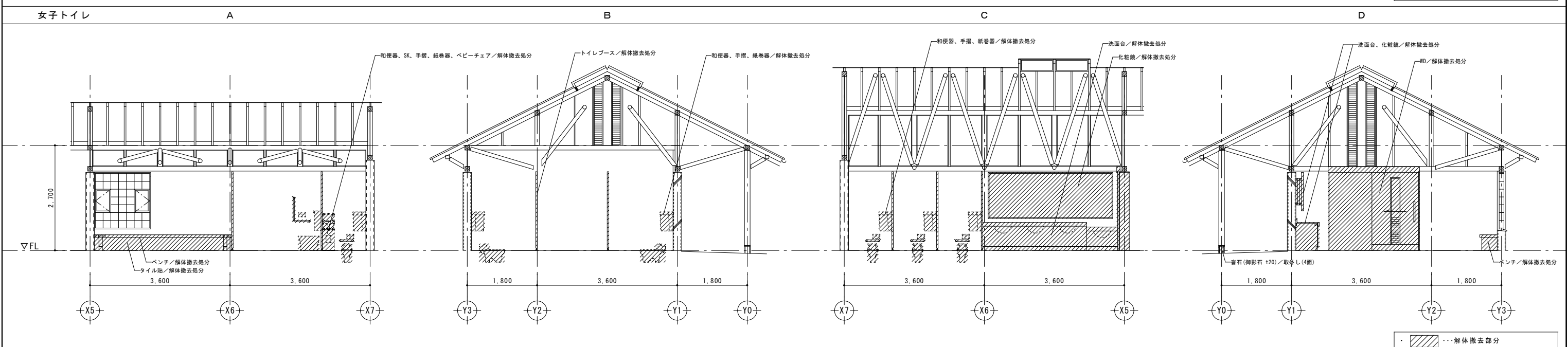
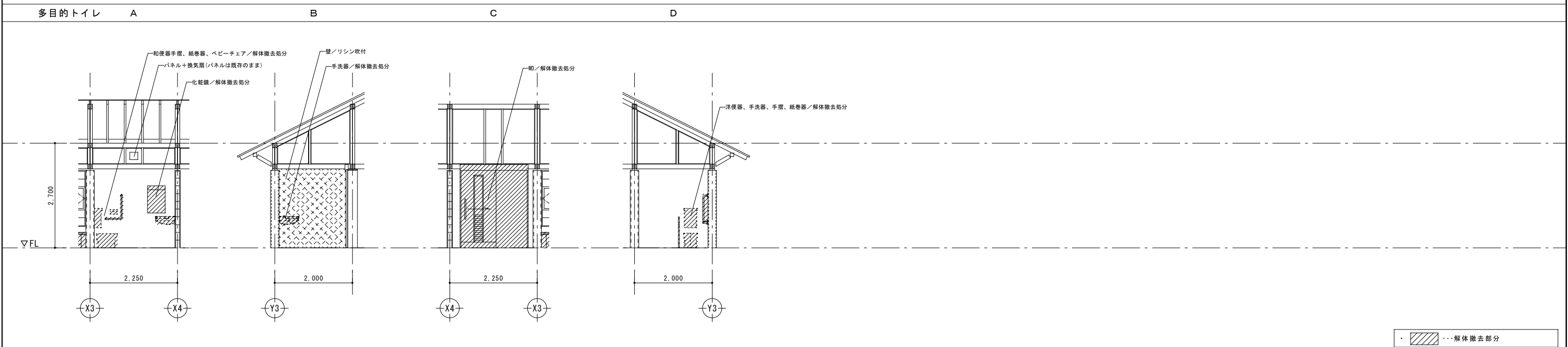
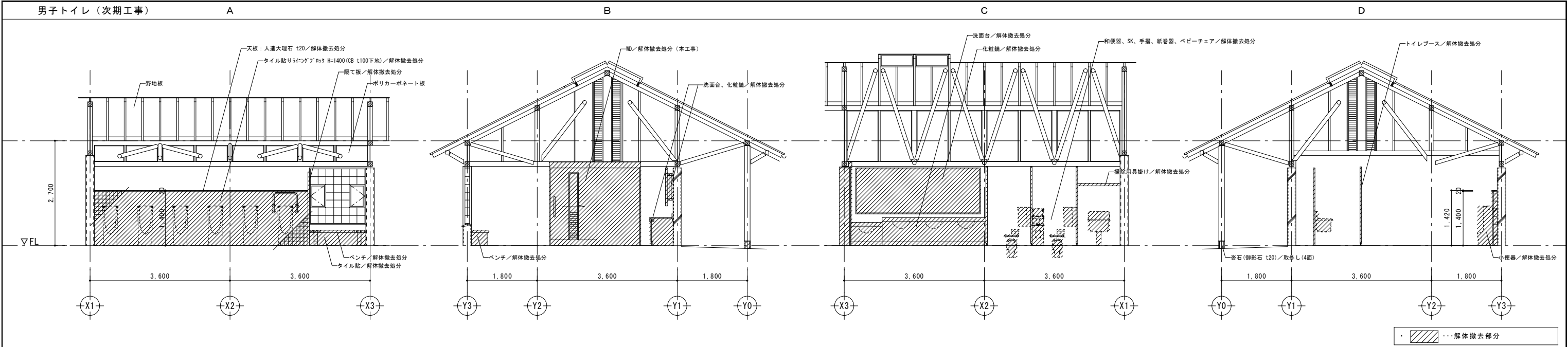
SCALE A1 1 : 30

PART 建築意匠

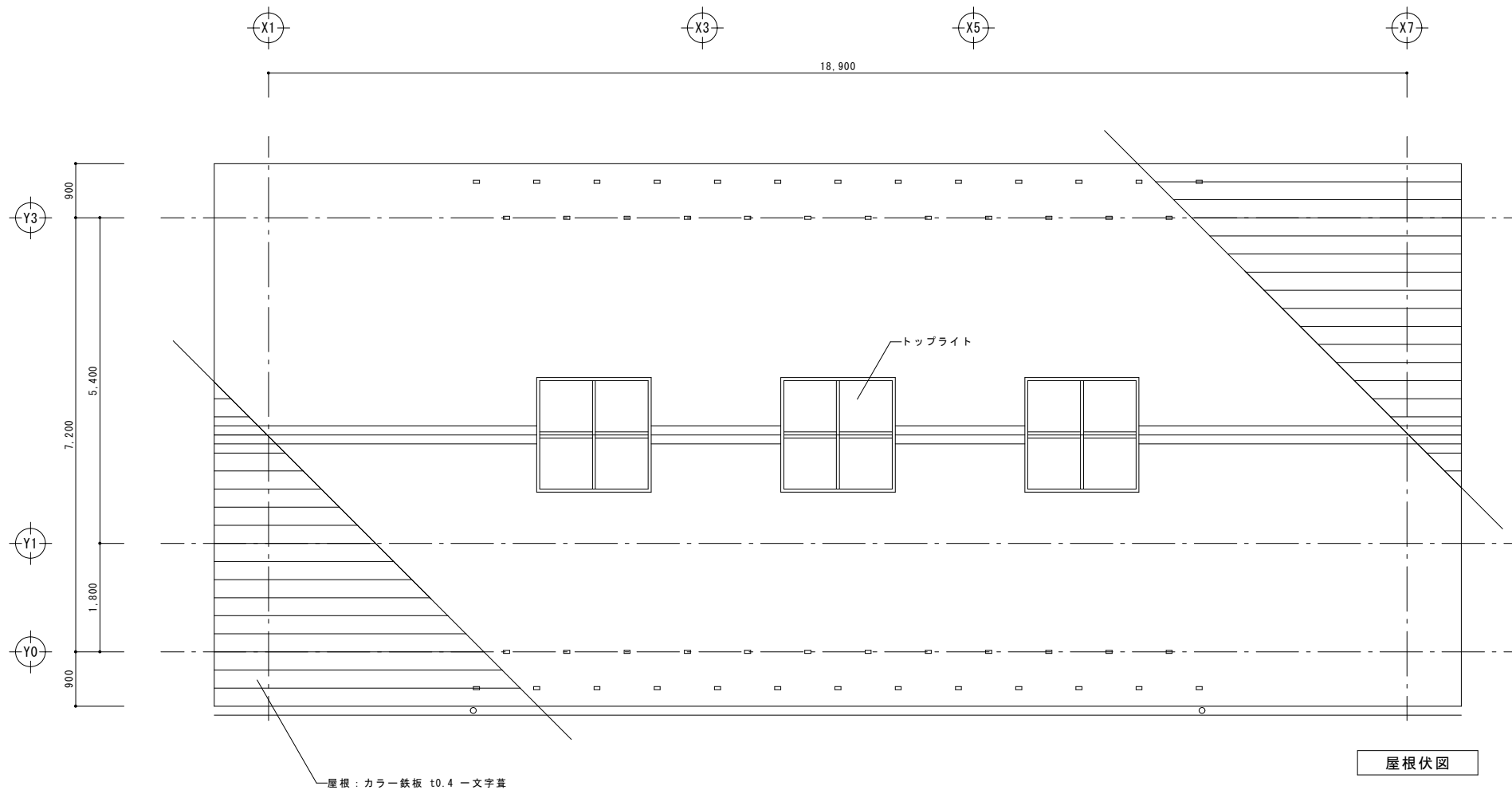
SHEET NAME 解体断面詳細図

SCALE A3 1 : 60

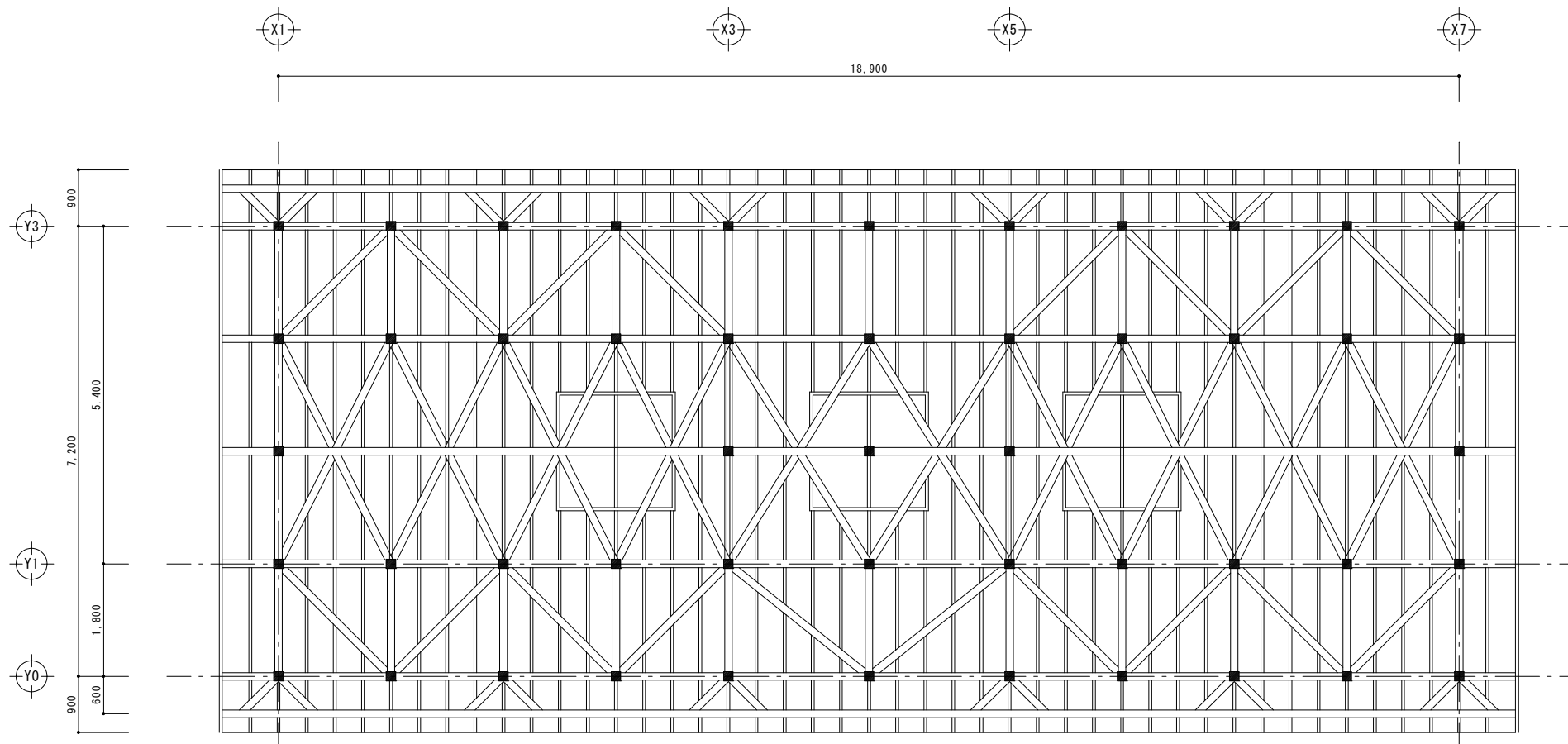
SEET NO. K - 03



東御市	東御中央公園北側トイレ改修第1期工事	解体展開図	社会資本整備総合交付金事業		DATE 2026.09	JOB NO. 2 6 4 9
			東御中央公園北側トイレ改修第1期工事		SCALE A1 1 : 50	PART 建築意匠
					SCALE A3 1 : 100	SEET NO. K - 04



屋根伏図



天井伏図

東御市

JOB NAME	社会資本整備総合交付金事業	DATE	2026.09	JOB NO.	2 6 4 9
	東御中央公園北側トイレ改修第1期工事	SCALE A1	1 : 50	PART	建築意匠
	解体天井伏図・屋根伏図	SCALE A3	1 : 100	SEET NO.	K - 05

記号・形式・数量		WD1木製 片引き戸		2ヶ所		WD2木製 片引き戸		2ヶ所		GB1ガラスブロック 両側すべり出し窓付き		2ヶ所		1P1トップライト FIX窓（次期工事）		3ヶ所											
装 図	工事内容	■解体撤去処分（枠、三方シール共）				工事内容		■解体撤去処分（枠、三方シール共）				工事内容		既存のまま、クリーニング、網戸のみ撤去				工事内容		既存のまま、クリーニング、外周部シーリング撤去							
位置		男子トイレ・女子トイレ				位置		多目的トイレ				位置		パウダールーム				位置		ボーチ、パウダールーム							
仕上・見込		40 扉/ビラー OSCL 枠/スチール製 SOP				仕上・見込		40 扉/ビラー OSCL 枠/スチール製 SOP				仕上・見込		95 枠/スチール製 OP（ガラスブロック共）				仕上・見込		アルミ製							
硝子		線入り型ガラス t6.8				硝子		線入り型ガラス t6.8				硝子		ガラスブロック 200角 プレーンタイプ				硝子		線入り型ガラス t6.8							
金物		ハンガーレール シリンダー錠 引棒L=600 標準金物一式				金物		ハンガーレール シリンダー錠 引棒L=600 標準金物一式				金物		レバーハンドル 標準金物一式				金物									
備考		ガラリ				備考		ガラリ				備考		網戸				備考									
記号・形式・数量		WN1木製 FIX窓 ガラリ付き（次期工事）				2ヶ所		WN2木製 FIX窓（次期工事）		2ヶ所		WN3木製 FIX窓 ガラリ付き（次期工事）		2ヶ所		WN4木製 FIX窓（次期工事）		2ヶ所									
装 図	工事内容	既存のまま、クリーニング				工事内容		既存のまま、クリーニング				工事内容		既存のまま、クリーニング				工事内容		既存のまま、クリーニング							

社会資本整備総合交付金事業 東御中央公園北側トイレ改修第1期工事

| 工 事 概 要

1 工 事 場 所 長野県東御市鞍掛177-2

2 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
建築概要による					

3 工 事 種 目 (○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	項 目	建 物 別 及 び 屋 外			
		既 存	屋 外		
電灯設備	幹線、分枝	○	○	-	-
動力設備		-	-	-	-
電熱設備	幹線、分枝	-	-	-	-
雷保護設備		-	-	-	-
受変電設備		-	-	-	-
電力貯蔵設備		-	-	-	-
静止形電源設備	直流電源装置	-	-	-	-
自家発電設備		-	-	-	-
		-	-	-	-
構内情報通信網設備	LAN用配管配線	-	-	-	-
構内交換設備	電話設備	-	-	-	-
情報表示設備	時計設備	-	-	-	-
映像・音響設備		-	-	-	-
拡声設備		-	-	-	-
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備	○	-	-	-
テレビ共用受信設備		-	-	-	-
監視カメラ設備		-	-	-	-
駐車場管制設備		-	-	-	-
防犯・入退室管理設備	予備配管	-	-	-	-
自動火災報知設備		-	-	-	-
自動閉鎖設備		-	-	-	-
非常警報設備	非常放送装置	-	-	-	-
ガス漏れ警報設備		-	-	-	-
中央監視制御設備		-	-	-	-
		-	-	-	-
構内配電線路		-	-	-	-
構内通信線路		-	-	-	-
外灯設備		-	-	-	-
仮設工事		-	-	-	-

II 工事仕様

1 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大官庁官庁官庁官庁の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）、及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和7年版）」（以下、「標準図」という。）による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を採用する。

2 特 記 仕 様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項	目	特	記	事	項
---	---	---	---	---	---

- | | |
|--------------|--|
| ① 機 材 等 | <p>本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。</p> <p>ただし、これらと同等のものとする場合は、監督監理の承認を受ける。</p> |
| ② 機材の品質・性能証明 | <p>下表に示す材料・機材等（○印のもの）の製造者等は次の１）から６）のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督監理の承認を受ける。</p> |

材 料 ・ 機 材 名		材 料 ・ 機 材 名	
○	LED照明器具	・	
・		・	
・		○	その他の、監督員の指示によるもの
○	(社) 公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材		

- 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
- 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
- 安定的な供給が可能であること。
- 法令等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。
- 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。
- 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

- | | |
|--------------------------|---|
| ③ 化学物質を発散する
建 築 材 料 等 | 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（１）から（５）を満たすものとする。 |
|--------------------------|---|

- (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築材、ユリア樹脂板、仕上け塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。
- (2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。
- (3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。
- (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。
- (5) 上記(1)の、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。

お、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。

ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料
規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
	②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
	③下記表示のあるJAS規格品
	a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
	b 接着剤等不使用
	c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
第三種	d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
	e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
	f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
	②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
	③旧JISのE〇規格品
④旧JASのF〇〇規格品	

- | | |
|----------------------------------|---|
| <p>施工条件明示項目</p> <p>① 電気保安技術者</p> | <p>・公共建築物工事積算基準の解説（設備工事編）の「軌道並改修」</p> <p>工事現場の電気工作物（電路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む）の保安業務を行うものとする。</p> |
| <p>② 電気工事士</p> | <p>契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士より施工を行う。</p> |
| <p>③ 実施工程表及び
施工計画書</p> | <p>（１）実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち達成者に提出する。</p> <p>（２）工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち達成者に提出し、品質計画に係る部分は</p> |

- ① 使用材料発注先調査 使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調査書を作成し提出する。
- ② 廃生材の処理
- (1) 引渡しを要するもの ○無 ・有 ()
- (2) 引渡しを要するもの以外 ○無 ・有 ()
- (3) 特別管理産業廃棄物 ○無 ・有 (PCB使用機器、関係法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。)
- (4) 再利用又は再資源化を図るもの

- | | | |
|----------|---------------------------|--------|
| ⑩ 監督員事務所 | ○ 設けない ・ 設ける（規模：
・ 備品（ | ）
） |
| ⑪ 工事用仮設物 | すべて請負者の負担とする。 | |

- ① 足場・さん横断
- 別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。
- ・本工事で設置する。
- ・内部仮設足場等（・策台足場 ・移動式足場 ・移動式室内足場 ・ ）
- ・外部足場
- （ ・ A 種 [施工箇所面に枠組足場を設ける。] ・ B 種 [施工箇所面に単管本足場を設ける。]
- ・ C 種 [仮設コンドラを使用する。] ・ D 種 [移動式足場を使用する。]

- ⑬ 工事用電力・水・その他 本工事に必要な工事用電力、水等については有償で利用できる。

項目	特記事項
① 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。
② しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。
③ 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。
④ 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承認を受けるものとする。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量〔kgf〕に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。
設計用標準水平地震度	
設置場所	機器種別
	重要機器 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	機 器
	2.0 1.5 1.5 1.0
中間階	防振支持の機器
	2.0 2.0 2.0 1.5
地下・1階	水槽類（※1）
	2.0 1.5 1.5 1.0
	機 器
	1.5 1.0 1.0 0.6
	防振支持の機器
	1.5 1.5 1.5 1.0
	水槽類（※1）
	1.5 1.0 1.0 0.6
	機 器
	1.0 0.6 0.6 0.4
	防振支持の機器
	1.0 1.0 1.0 0.6
	水槽類（※1）
	1.5 1.0 1.0 0.6
(※1) 水槽類にはオイルタンク等を含む。	
◎重要機器の定義は次による。	
☒ 変電設備 ☒ 発電設備 ☒ 直流電源設備 ☒ 交流無停電電源装置	
☒ 交換機 ☒ 自動火災報知受信機 ☒ 中央監視装置 ☒ LAN用メインラック	
◎上層階の定義は次による。	
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、	
10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。	
(2) 設計用垂直地震力	
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。	
(1) 重要機器類は公共建築の修工事標準仕様書（建築工事編）8章の2節8.2.4及び10節による。	
(2) 上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。	
(引抜き試験を、実施する ☒ 実施しない)	
電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合は施工状況について、貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。	
(1) EM-E-EF は異常外れによる劣化を抑制する性能を持たせ、「タイシガイセン EM-E-EF」と表記されたものを使用する。	
(2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS 規格による EMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。	
21 予備配管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。
22 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビロ被覆鉄線を挿入する。
23 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。 屋外 ☒ 屋内 ()
24 埋め戻し土	・ A 種（山砂の類、水締め、機器による締固め） ・ B 種（切切り土中の良質土：機器による締固め） ・ C 種（他現場の建設発生土中の良質土：機器による締固め） ・ D 種（再生コンクリート砂：水締め、機器による締固め） ・ 管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める ・ 境外搬出処理 ・ 構内での指定場所に敷き均し
25 建設発生土の処理	
26 ケーブル埋設票	(1) 地中経路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ・コンクリート製 (2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。 (3) 配管埋設機器が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。
27 ブルボックス	(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2) 露出するブルボックスのふたの止めねじには化粧ビスとする。
28 フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ☒ 金属製 ・樹脂製
29 プレートの用途表示	ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を安装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。
30 配線器具	タフラススイッチは運用形とする。 壁付けコンセント（2P15A）は原則として運用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用し良い。また（2P15A）以外では必ずキャップとする。 ・OAフロア内ハーネスタイプ 本工事の動力制御並びに別途電動機等への配線の接続は本工事とする。
31 機器への接続	
32 照度測定	・ 測定場所： ・各室（測定箇所数 4箇所） ・廊下 ・階段 用 途： ・非常用照明 ・説明用 ・ 学校施設における室内照度測定（測定教室 1箇所、測定黒板面 1箇所） ※教室の照度は、1教室当たり机上面9箇所、黒板黒面直上9箇所測定する
33 盤類	(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。
34 グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ・変圧器 ・ () <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器
35 他工事又は他種との取合い	工事区分表による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。
36 その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書（共通事項）」による。 (長野県公式ホームページ（電子入札システム）に掲載される、当該入札公告の添付図書)
37 その他	・ 施工制約条件 ・ 受電は引き渡しの日2ヶ月間とし、その間の基本料金は請負者の負担とする。 ・ 柱面に取付けるスイッチ、コンセント、弱電機器等は、くばり仕上げ材の間にボックス取付及び配管工事を行うものとし、くばり端はしないものとする。

(別表) しゅん工事提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

個 別 提 出 物	一 括 提 出 物
1 完成図 ○ 原図（Ａ１版 ケース入り） ○ 横断（Ａ１ ２つ折り製本 １部） ・ マイクロフィルム （バーチャアカード貼付 台紙は黄色） ○ ＣＡＤデータ	5 機器完成図 6 工事写真 7 完成写真 8 工事記録 （打合せ簿、工事日誌、協議書） 9 機材の試験成績書 10 施工の試験成績書 11 社内試験成績書 12 発生材処理報告書 （廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の写し・マニフェストの写し、フロー図）
2 設計図 ・ マイクロフィルム （バーチャアカード貼付 台紙は黄色）	
3 引渡書	13 納入品一覧表
4 納入品 ○ 予備品 ・ハンドホールフック、ジャッキ ○ 留めの鍵 ・	14 官公署手帳、検査書（管理者用正本、写し） 15 保全に関する資料（取扱い説明書も含む）

- ハンドホール
- 下表による。(様子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)
- ブックエンド相互間 (寸法は別表を参照)。底部とハンドホール内側底部をいう。)
- ・ブックエンド相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
 - ・ブックの仕様が国交運輸仕様に基づくものとする。
 - ・ハンドホールにブックアウト部分をつけてはならない。
 - ・配管貫通部は、原則として縦巻きコンクリート ($F=18\text{ N/mm}^2$) とし、差し筋D10ヤコチφ20で補強する。
 - ・補強方法については、あらかじめ監督官にハンドホール製図を提出して承認を受けて施工する。

・	ハンドホール No. - 1	1,500×1,500×1,500D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. - 2	1,200×1,200×1,500D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. - 3	1,000×1,000×1,400D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. - 4	1,000×1,000×1,100D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. - 5	1,200×600×900D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,060以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. - 6	900×900×1,100D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,260以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. - 7	900×900×900D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既装足付)
・	ハンドホール No. - 8	600×600×680D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既装足付)
・	ハンドホール No. - 9	450×450×680D 蓋 WPM-45B (エマーク入)	※結核等車道の通行の恐れがない場所、 収容ケーブルが少ない場所に限る

- 4 接 地 極
下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

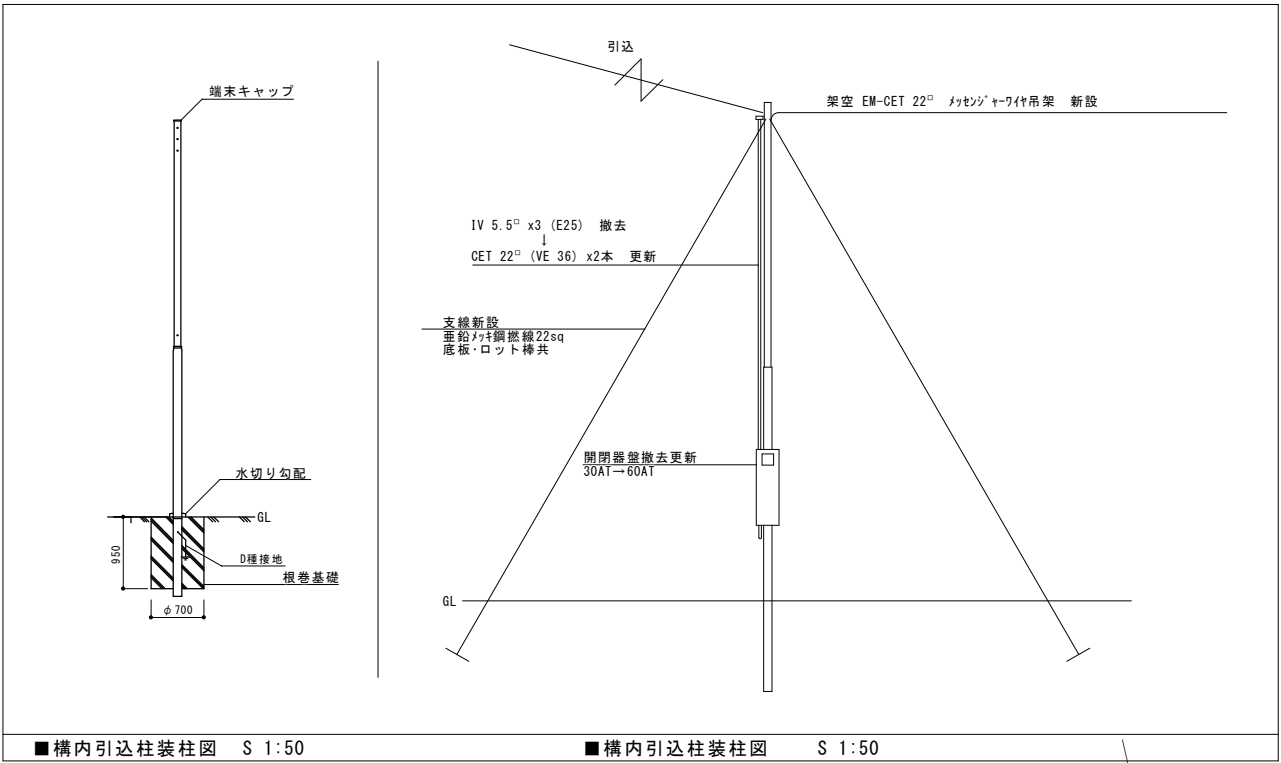
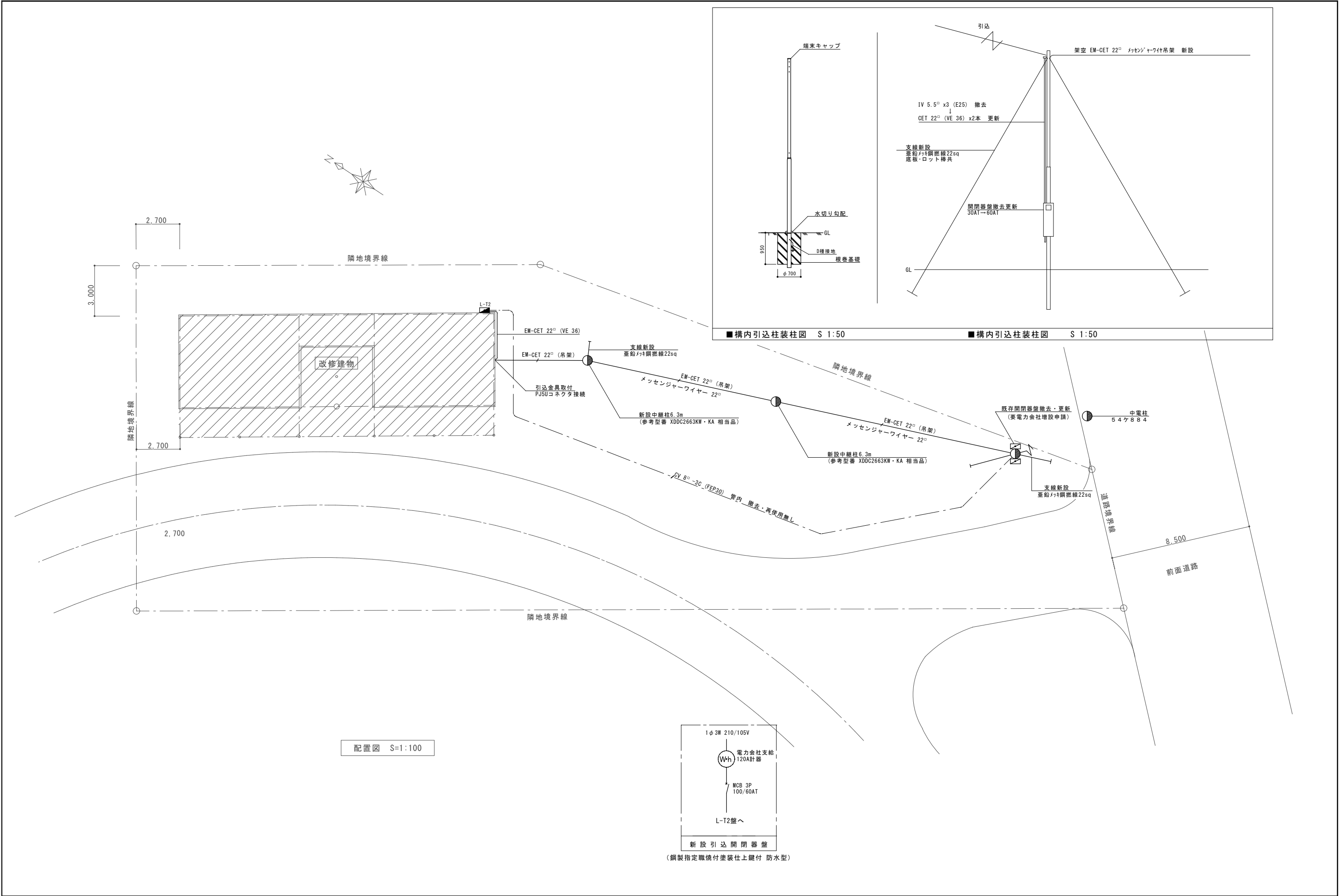
-	A 種 接 地	銅 1.5 t × 900 × 900 リード端子付 堀埋環境中心深さ 2 m	補助接地棒 (連結 10 φ × 1、500) 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
-	B 種 接 地	銅板 1.5 t × 600 × 600 リード端子付 堀埋環境中心深さ 2 m	補助接地棒 (連結 10 φ × 1、500) 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
-	C 種 接 地	銅板 1.5 t × 300 × 300 リード端子付 堀埋環境中心深さ 1.5 m	補助接地棒 (連結 10 φ × 1、500) 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
-	D 種 接 地	接地棒 (10 φ × 1、500) リード端子付 打ち込み 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)	

- 5 機器取付高
図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

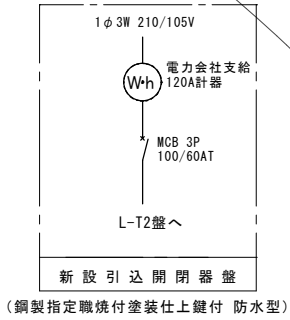
	名 称	測 点	取付高 (mm)		名 称	測 点	取付高 (mm)	
共通	取付用計器	地上～上端	2,000	時計 ・ 拡張	壁掛け時計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	
	引込開閉器	床下～上端	1,800					
	警報盤	床下～中心	1,500					
電	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	表	子時計	"	"	
	タンブラスイッチ	"	1,300		壁掛けスピーカ	"	"	
	" (身障者用)	"	1,100		アッテネーター	"	1,300	
	コンセント (一般)	"	300					
	" (和室)	"	150	示	表示燈	床上～中心	(天井高) × 0.9	
	" (便所等)	"	500		壁付発信器	"	1,300	
	" (台所)	"	150		ベル	"	(天井高) × 0.9	
	" (浴場)	"	2,500		プザー	"	(天井高) × 0.9	
	ブラケット (一般)	台上～中心	2,100	押ボタン	"	1,300		
	" (鏡上)	鏡端～中心	150	身障者用押扣	"	900		
避難口誘導灯	床下～下端	1,500以下	身障者用表示灯	"	2,000			
廊下通路誘導灯	床下～上端	1,000以下	復旧ボタン	"	1,800			
動 力	壁掛け形御座	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	イン ター ホ ン	壁付インターホン	床上～中心	1,500	
	手元開閉器	"	1,500		" (身障者用)	"	1,100	
	操作スイッチ	"	1,300	壁付位置ボックス	"	"		
	押ボタン	"	"	(壁付インターホンを除く)	"	"		
電	室内端子盤	床下～下端	300	ホ ン	壁付インターホン (一般)	"	300	
	中間端子盤	床上～中心	1,500		" (和室)	"	150	
	集合保安器箱	"	"	テ レ ビ 共 用 受 信	機器受信箱	床上～中心	(天井高) × 0.9	
	壁付アース (一般)	"	300	ア ウ ト レ ット	" (一般)	"	"	
ポックス	"	150	" (和室)	"	"	150		
話				大	受信機	床上～操作部	800～1,500	
					副受信機	"	800～1,500	
				報	機器受信箱	床上～中心	800～1,500	
				知	発信器	"	800～1,500	
					ベル	"	(天井高) × 0.9	
					消火栓表示灯	"	(天井高) × 0.8	

	東御市			社会資本整備総合交付金事業	DATE 2026.09	JOB NO. 2 6 4 9
				JOB NAME 東御中央公園北側トイレ改修第 1 期工事	SCALE A1 N : S	PART 電気設備
				SHEET NAME 特記仕様書	SCALE A3 N : S	SEET NO. E - 01

工事区分		本工事			別 途 工 事		備考	工事区分		本工事			別 途 工 事		備考						
1. ●印を適用し、無印は適用しない。 2. 結線は機器取付けを含む工種の工事とする。 3. 特記無き限り、配線工事は配管共とする。		建築 工事・ 外構	機 械 設 備 工 事	電 気 設 備 工 事				1. ●印を適用し、無印は適用しない。 2. 結線は機器取付けを含む工種の工事とする。 3. 特記無き限り、配線工事は配管共とする。		建築 工事・ 外構	機 械 設 備 工 事	電 気 設 備 工 事									
一 般 事 項 ・ 仮 設	水道、下水、ガスの引渡しまでの基本料金、使用料金	●	●	●				空 気 調 和 ・ 換 気 設 備	室外機、室内機への電源送り		●				家 具 ・ 什 器 ・ 雑	ユニット、雑など					
	電気の引渡しまでの基本料金、使用料金	●	●	●					屋内機へ屋外機より電源分岐する機種の変り配線		●					カーテン、ロールスクリーン、ブラインド、暗幕	●				
	工事上の各種申請、届出費用	●	●	●					パッケージ型空調機・全熱交換換気扇のリモコンスイッチ及び機器間の渡り配線		●					上記のボックスおよびレール	●				
	監理者・施工者の現場事務所、備品	●	●	●					同上用配管及びリモコンスイッチ用裏ボックス		●					造作家具	●				
	仮設揚重機、内外足場	●							ダクト用換気扇及び天井扇のスイッチ及び制御配管配線		●		24時間換気スイッチ含む			置式家具、什器			●		
	躯体・仕上養生	●							24時間換気の為の注意表示		●					黒板、白板、掲示板	●				
	各種検査試験費	●	●	●					外気ガラリのダクト接続用フランジ出し	●						外壁サイン	●				
	土壌調査	●	●	●					ガラリに取り付くチャンパーボックス	●						定礎石	●			●	
	近隣家屋調査	●				●			床下空調吹出口							TV					
	道路の養生・清掃等	●	●	●												サイン	●				
イン フラ 引 込 ・ 接 続	水道本管からの接続工事		●					水 廻 り ・ 便 所	小便器、大便器、洗面器等の衛生陶器及び給排水金物、接続配管		●				外 構 ・ 植 栽	雨水排水工事		●			
	下水本管への接続工事		●						温水洗浄便座		●					汚水、雑排水工事及び化粧蓋			●		
	電力引き込み工事			●					温水洗浄便座コンセント			●				同上用化粧蓋仕上			●		
	C A T V 契約			●					トイレブース、隔板	●		●				舗装工事	●	●			
	C A T V 引き込み工事			●					化粧鏡、姿見鏡		●					植栽、客土、土壤改良材、排水層・坪庭	●				
	都市ガス引き込み工事			●					小便器・大便器・洗面器用手摺		●					建物と一体の植栽壁、植栽基盤下の防水層等	●				
	各インフラ引き込みに伴う道路仮復旧及び本復旧	●	●	●					ペーパーホルダー		●					散水栓及びそれへの給水管の接続			●		
									洗面カウンター		●					既存樹木の剪定	●				
									同上用組込洗面器・水石蔵入れ・給排水管接続		●										
									同上用カウンター穴明け	●											
躯体 貫 通	S 造の梁貫通スリーブ	●						水 廻 り ・ 便 所	多目的トイレユニット（付属の手摺等を含む）	●					解 体	既存建物の解体		●			
	同上貫通補強	●							オストメイト対応設備		●					既存建物などの地下部分のガラ撤出処分		●			
	R C 造の梁貫通スリーブ	●	●	●					ベビチェア		●					既存雨水・汚水合流樹の蓋取替え		●	●		
	同上貫通補強	●							流し台、吊戸棚	●	●		水栓、排水トラップ含む			既存樹木の伐採・伐根					
	壁、床の貫通スリーブ、箱入れ	●	●	●					同上用給排水及び接続配管工事		●					歩道切下部分の道路改修					
	同上貫通補強	●							同上用接続ダクト		●					既存ブロック塀の改修		●	●		
	貫通スリーブ、箱抜き穴埋め	●	●	●					同上電源接続用コンセント、棚下灯、電源送り			●				外構撤去		●	●		
									電気温水機		●		水栓含む			アスベスト除去		●			
									同上用電源送り			●									
									電気温水器		●										
躯体 以 外 の 貫 通 ・ 加 工	下地の補強を要する天井、壁の切り込み、穴開け	●						ビ ット	電気温水器設置に伴う流し台内の切欠き・穴あけ等	●				解 体	既存建物の解体		●				
	下地の補強を要しない天井、壁の切り込み、穴開け	●	●	●					電気温水器のスイッチ及び制御配線・配管		●					既存建物などの地下部分のガラ撤出処分		●			
	A L C 板、石等の設備取付け用穴開け、補強	●							電気温水器への電源送り			●				既存雨水・汚水合流樹の蓋取替え		●	●		
	同上取付け枠	●	●	●					冷蔵庫			●				既存樹木の伐採・伐根					
	コンクリートブロック、レンガ等の設備取付け用補強	●							洗濯パン及び排水金物		●					歩道切下部分の道路改修					
	同上穴開け、取付け枠	●	●						同上、水栓、給水、排水接続		●					既存ブロック塀の改修		●	●		
	開口補強	●							ユニットシャワー（US）	●						外構撤去		●	●		
	外壁貫通部のダクト配線配管廻りシール	●	●	●					同上用給排水及び接続配管工事		●					アスベスト除去		●			
									同上電源接続用コンセント			●									
									同上用ファン及び接続ダクト		●										
設 備 基 礎	R C 製設備基礎、重量物鋼製基礎架台及び躯体取合い部シーリング	●						機 械 警 備	管理・運営					入 退 管 理	電気錠		●				
	同上基礎及び架台と機器の間の補助鋼材、転倒防止支持材		●	●					機械警備本体および取り付け・調整				●			電 話	電気錠制御盤、カードリーダー、配線			●	建具内のみ建築工事
	同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み		●	●					同上用配管				●				1次側電源の配管配線			●	建具内のみ建築工事
	同上躯体取合い部シーリング		●	●				同上用配線				●		制御盤以降2次側配管				●	建具内のみ建築工事		
	機器振動対策		●	●					電気錠		●			情 報	インターホン本工事のインターホン設備設置に伴い発生する既存ドアホン、インターホンの器機更新及び改造			●			
	屋上・配管、ラックの支持架台		●	●					電話引込工事				●			電話交換機・電話機および取り付け・調整			●	配管のみ本工事、NTT工事	
	同上架台と機器の間の補助鋼材		●	●					同上用配管				●			同上用配線及びモジュラージャック取り付け			●		
															端子盤・MDF			●			
	機 器 制 御	機器付属制御盤への電源供給配管、配線			●		本項目の機器付属制御盤とは、空調又は衛生工事の機器に付属する制御盤を示す。		電 話	情報機器（FAX、プリンター、無線LAN等）および取り付け・調整			●	●	情 報	情報機器（FAX、プリンター、無線LAN等）および取り付け・調整			●	●	配管のみ本工事
機器付属制御盤と動力制御盤間のインターロック用配管、配線				●				同上用配管					●			同上用配管			●		
機器付属制御盤以降の機器との渡り配管、配線（接地共）			●					同上用配線及びモジュラージャック取り付け					●			同上用配線及びモジュラージャック取り付け			●		
									光ケーブル、光スプライスボックス			●						●			



配置図 S=1:100

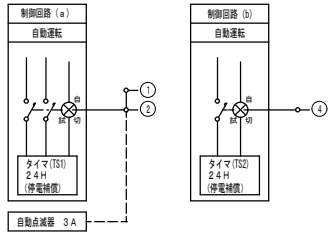


	東御市			社会資本整備総合交付金事業	DATE 2026.09	JOB NO. 2 6 4 9
				東御中央公園北側トイレ改修第1期工事	SCALE A1 1 : 100	PART 電気設備
				配置図・幹線設備図	SCALE A3 1 : 200	SEET NO. E - 03

既存電灯盤図(参考)

盤 名 称	主 開 閉 器	回路 番号	電 圧 (V)	分岐開閉器 (A F / A T)	負 荷 容 量 (V A)	負 荷 名 称	備 考
L-T2 1φ3W 210/105V 壁掛盤 屋外露出 接地端子付 指定色塗装		④	200	MCCB 2P 50/20		男子パネルヒーター	
		⑤	200	MCCB 2P 50/20		身障者パネルヒーター	
		⑥	200	MCCB 2P 50/20		女子パネルヒーター	
		⑦	200	MCCB 2P 50/20		予 備	
		⑧	100	MCCB 2P 50/20		照明A	
		⑨	100	MCCB 2P 50/20			
		⑩	100	MCCB 2P 50/20			
		⑪	100	MCCB 2P 50/20		警報装置	
		⑫	100	MCCB 2P 50/20		換気扇	
		⑬	100	MCCB 2P 50/20		地下ポット	
		⑭	100	MCCB 2P 50/20		カメラ用電源	
		⑮	100	MCCB 2P 50/20		予 備	
		⑯	100	ス ペ ース			

H1000xW500



A

LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当

パナソニック LGD3106VLE1 相当品

LEDダウンライト 60形電球1灯器具相当

B

LEDダウンライト 60形電球1灯器具相当

パナソニック LGD1106VLE1 相当品

LEDダウンシーリング 100形電球1灯器具相当

C

LEDダウンシーリング 100形電球1灯器具相当

パナソニック LGW51501LE1 相当品

CN2

埋込形表示器

CN-2A34/A 相当品

電源電圧	DC12V (電源アダプタから供給)
形 状	露出形
材 質	ステンレスヘアライン仕上げ
窓 数	2窓
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯

PS

電源アダプター

PS-1225A 相当品

電源電圧	AC100V 50/60Hz
入力容量	75VA
出力電圧	DC12V
出力電流	2.5A
形 状	据置・壁取付 (専用金具) 両用
材 質	難燃性樹脂

P

回転表示灯

SKSM1J-G/B・相当品

形 状	委 託 な し
材 質	回転灯 (ブラシレスモータ) SK IP23, IP60
備 考	ランプカバー: ポリカーボネート

O

角型廊下灯

NBR-4B 相当品

形 状	壁埋込型 (JIS1用スイッチボックス)
材 質	パネル部: 自己消火性樹脂 ランプカバー: ポリカーボネート
備 考	LED方式 (赤色)

■

呼出ボタン

NBR-7MA 相当品

形 状	壁埋込型 (JIS1用スイッチボックス)
材 質	自己消火性樹脂

新規電灯盤図

盤 名 称	主 開 閉 器	回路 番号	電 圧 (V)	分岐開閉器 (A F / A T)	負 荷 容 量 (V A)	負 荷 名 称	備 考
L-T2 1φ3W 210/105V 壁掛盤 屋外露出 接地端子付 指定色塗装		①	200	ELB 2P 50/20	2,000	女子トイレ赤外線ヒーター	
		②	200	ELB 2P 50/20	2,000	男子トイレ赤外線ヒーター	
		③	200	ELB 2P 50/20	1,000	多目的トイレパネルヒーター	
		④	200	ELB 2P 50/20		予 備	
		⑤	200	ELB 2P 50/20		予 備	
						(タイマー制御a, b)	
						共用部照明	
						照明予備	
		①	100	ELB 2P 50/20	100	内部照明	
		②	100	ELB 2P 50/20	100	トイレ呼出装置	
		③	100	ELB 2P 50/20	100	男女トイレ手洗	
		④	100	ELB 2P 50/20	1.204	地下ポンプコンセント	
		⑤	100	ELB 2P 50/20	1.450	女子多目的トイレ電源	
		⑥	100	ELB 2P 50/20	1.450	男子多目的トイレ電源	
		⑦	100	ELB 2P 50/20	395	小児用トイレ扉座	
		⑧	100	ELB 2P 50/20	156	女子トイレ扉座	
		⑨	100	ELB 2P 50/20	104	男子トイレ扉座	
		⑩	100	ELB 2P 50/20	100	カメラ用電源	
		⑪	100	ELB 2P 50/20	100	予 備	
		⑫	100	ELB 2P 50/20	100	予 備	
		⑬	100	ELB 2P 50/20	100	予 備	
		⑭	100	ELB 2P 50/20	100	予 備	
		⑮	100			スペース	
		⑯	100			スペース	

(注記)

1. 回路番号の種別及び負荷種別

- ④ ----- 1φ2W 105V 電 灯 (主幹一次側で分岐)
- A ----- 1φ2W 105V コンセント (主幹一次側で分岐)
- ⑤ ----- 1φ2W 210V (電 灯)
- ⑥ ----- 1φ2W 210V (コンセント)
- ⑦ ----- 1φ2W 105V (電 灯・コンセント)

東御市

社会資本整備総合交付金事業

JOB NAME 東御中央公園北側トイレ改修第1期工事

SHEET NAME 分電盤図・機器姿図

DATE 2026.09

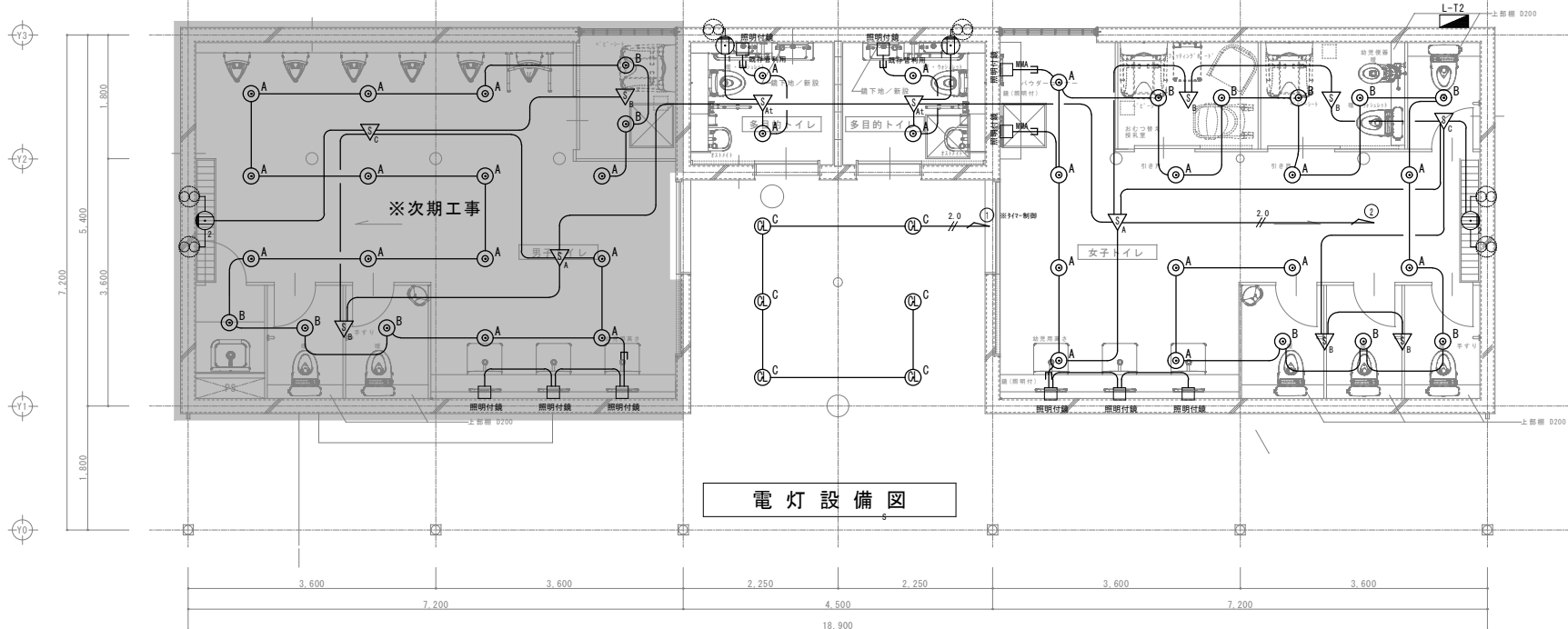
SCALE A1 N : S

SCALE A3 N : S

JOB NO. 2649

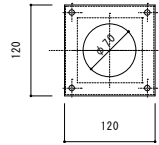
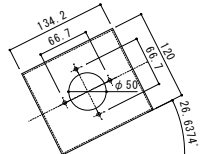
PART 電気設備

SEET NO. E-04

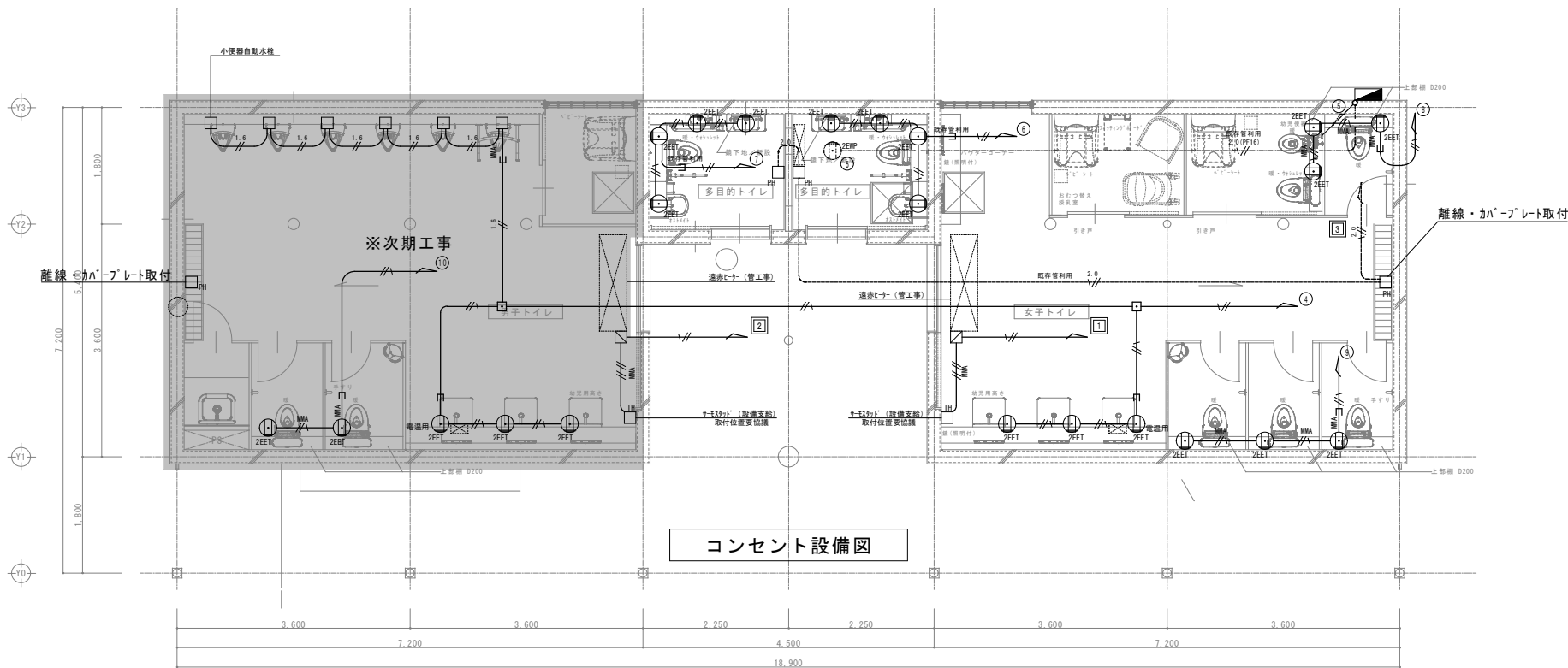


電 灯 設 備 図

電 灯 設 備 図 凡 例		
	電灯盤 屋外壁掛 H1000xW500	
	ダウンライト (別紙姿図参照)	
	ダウンライト (別紙姿図参照)	
	直付シーリングライト (別紙姿図参照)	
	照明付化粧鏡	
	熱線センサ付自動スイッチ 親器	参考品番 : WTK24818
	熱線センサ付自動スイッチ 親器(換気扇連動)	参考品番 : WTK2604
	熱線センサ付自動スイッチ 子器	参考品番 : WTK2910K
	熱線センサ付自動スイッチ 子器(換気扇連動用)	参考品番 : WTK29318
	ジョイントボックス	
	2P 15A コンセント 新金属P共	
	2P 15A コンセント 新金属P共	
	EM-IE 2.0×3 1線アース(管内)	
	EM-EEF 1.6-2C	
	EM-EEF 1.6-3C 1線アース	
	EM-EEF 1.6-2C	
	EM-EEF 1.6-2C x2線アース	

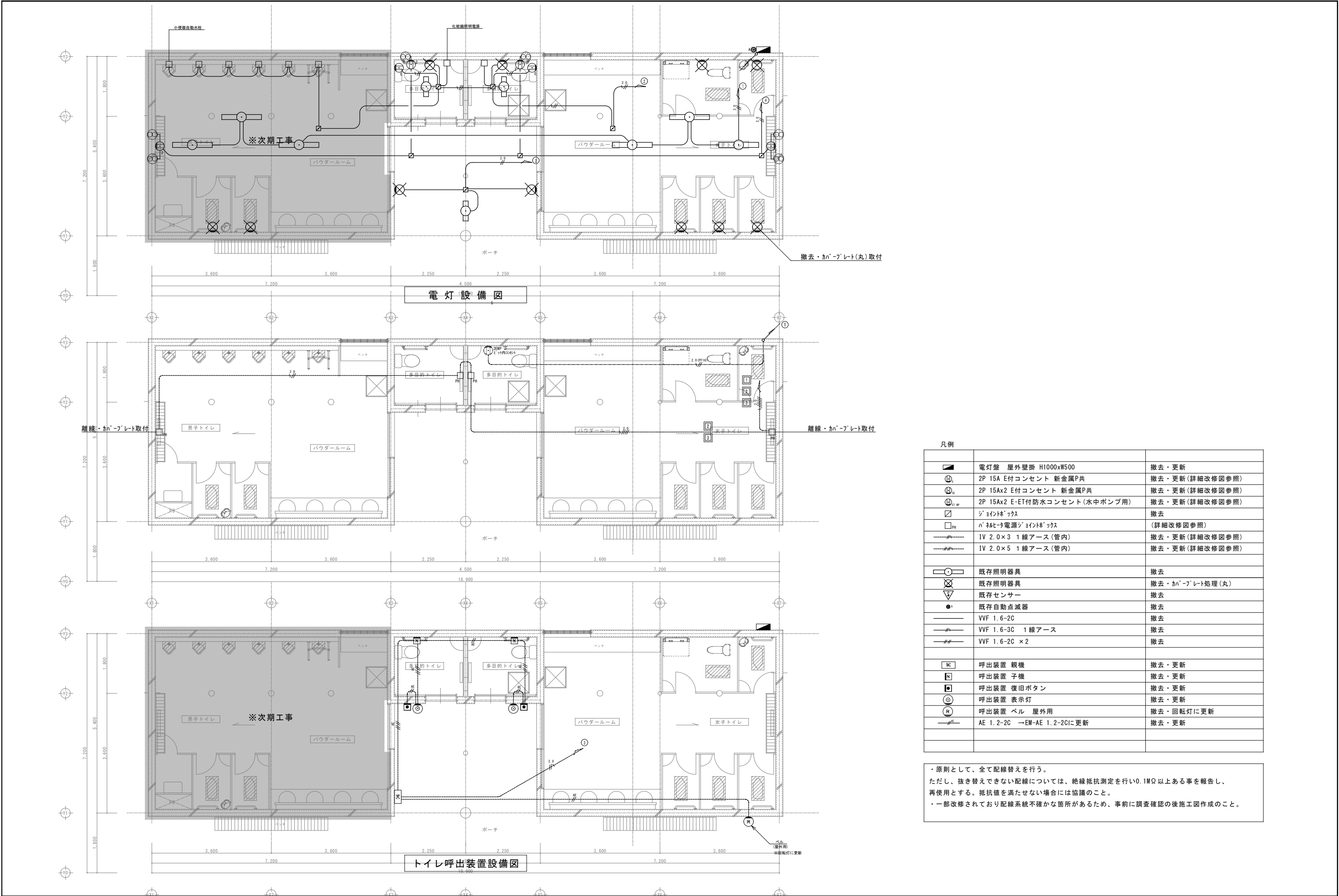


センサー取付金物(参考)
指定色塗装
S:1/5



コ ン セ ン ト 設 備 図

コ ン セ ン ト 設 備 図 凡 例		
	電灯盤 屋外壁掛	
	2P 15A E付コンセント 新金属P共	
	2P 15Ax2 E付コンセント 新金属P共	
	2P 15Ax2 E・ET付コンセント 新金属P共	
	2P 15Ax2 E・ET付防水コンセント(水中ポンプ用)	
	ジョイントボックス	
	ハルビータ電源ジョイントボックス	
	サモスタッド位置ボックス(管工事支給)	
	EM-IE 2.0×3 1線アース(管内)	
	EM-IE 2.0×4 1線アース(管内)	
	EM-EEF 2.0×3C 1線アース(コタシ)	
	EM-EEF 2.0×2C ×2本(コタシ)	
	A型メタルモール 配線保護	
	隠ぺい(PF22)	



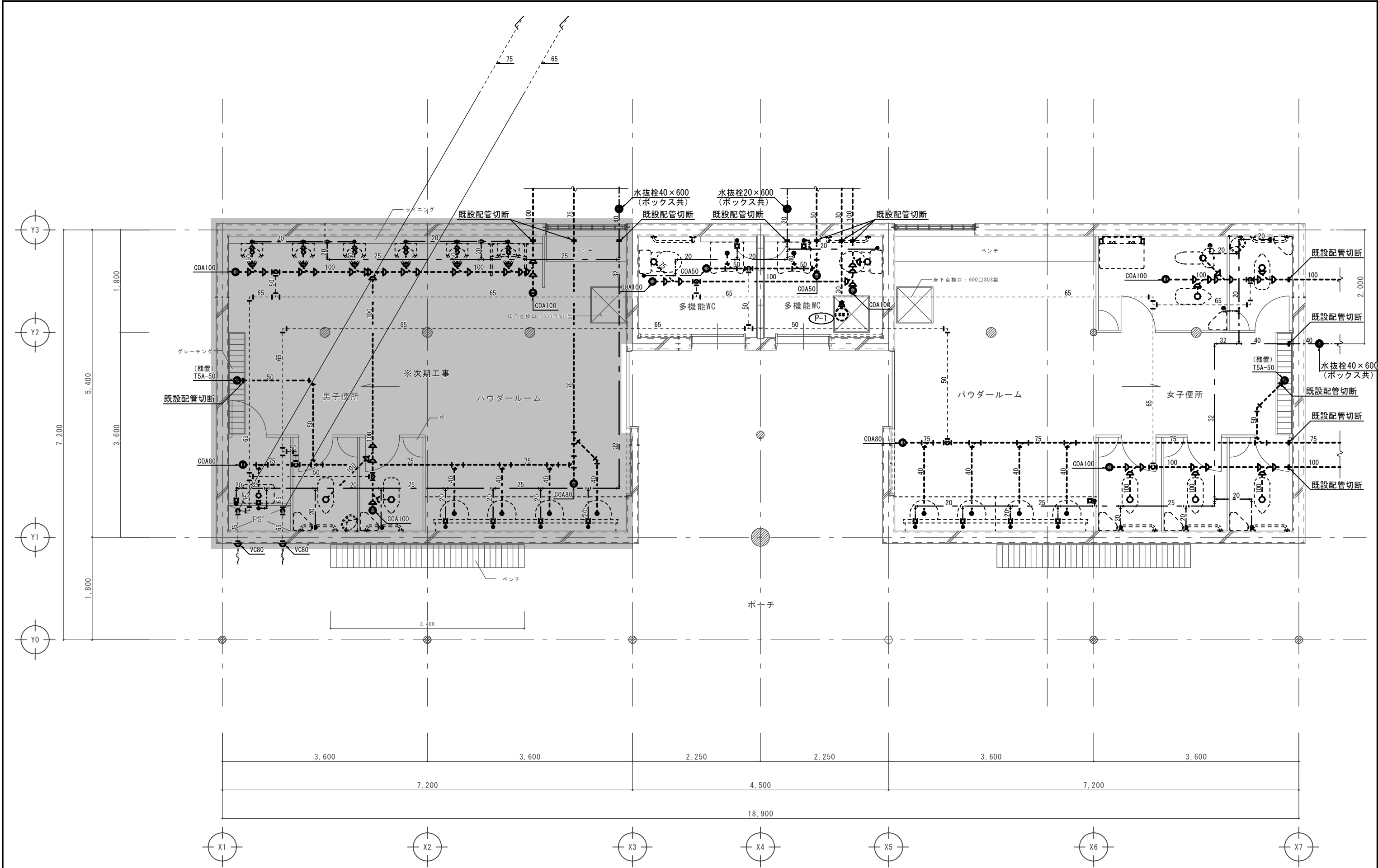
凡例		
	電灯盤 屋外壁掛 H1000xW500	撤去・更新
	2P 15A E付コンセント 新金属P共	撤去・更新(詳細改修図参照)
	2P 15Ax2 E付コンセント 新金属P共	撤去・更新(詳細改修図参照)
	2P 15Ax2 E・ET付防水コンセント(水中ポンプ用)	撤去・更新(詳細改修図参照)
	ジョイントボックス	撤去
	パワースourceジョイントボックス	(詳細改修図参照)
	IV 2.0×3 1線アース(管内)	撤去・更新(詳細改修図参照)
	IV 2.0×5 1線アース(管内)	撤去・更新(詳細改修図参照)
	既存照明器具	撤去
	既存照明器具	撤去・かへプレート処理(丸)
	既存センサー	撤去
	既存自動点滅器	撤去
	VVF 1.6-2C	撤去
	VVF 1.6-3C 1線アース	撤去
	VVF 1.6-2C ×2	撤去
	呼出装置 親機	撤去・更新
	呼出装置 子機	撤去・更新
	呼出装置 復旧ボタン	撤去・更新
	呼出装置 表示灯	撤去・更新
	呼出装置 ベル 屋外用	撤去・回転灯に更新
	AE 1.2-2C →EM-AE 1.2-2Cに更新	撤去・更新

・原則として、全て配線替えを行う。
ただし、抜き替えできない配線については、絶縁抵抗測定を行い0.1MΩ以上ある事を報告し、再使用とする。抵抗値を満たせない場合には協議のこと。
・一部改修されており配線系統不確かな箇所があるため、事前に調査確認の後施工図作成のこと。

撤去 器具・機器リスト

機 器 具 名	型 式	仕 様 ・ 付 属 品	室 名	男 子 ト イ レ ・ パ ウ ダ ー	男 子 多 機 能 W C	女 子 ト イ レ ・ パ ウ ダ ー	女 子 多 機 能 W C	幼 児 用 ト イ レ	合 計
和風大便器	床上給水 スラブ埋込	隅付ロータンク， 内部金物、止水栓共，		2		4		1	7 組
身障者用便器	床排水型	密結式ロータンク， 便座， 内部金物、止水栓共，			1		1		2 組
パブリック用手すり	固定式	I（横）形， ステンレス製，		2		4			6 台
パブリック用手すり	固定式	L 形， ステンレス製，			1		1		2 台
幼児用便器	床排水型	平付ロータンク， 便座， 内部金物、止水栓共，						1	1 組
紙巻器		ステンレス製，		2	1	4	1	2	10 個
ストール小便器	床置き	フラッシュ弁共		6					6 組
小便器用手すり	固定式	門形， ステンレス製，		1					1 台
カウンター洗面器	はめ込み式	立水栓， 止水栓， 排水金具共		4		4			8 組
同 上 カ ウ ン タ ー	製 作 品	L＝3500程度		1		1			2 台
同 上 化 粧 鏡	製 作 品	大型鏡 3200×800程度		1		1			2 台
身障者用洗面器	壁掛式	立水栓， 止水栓， 排水金具共			1		1		2 組
傾斜鏡	車いす用	寸法：528×193×664，			1		1		2 台
掃除用流し	バック付	水栓・ストラップ排水金具共		1					1 組
横水栓	掃除用	13A，		1		1			2 個
ベビーチェア	コーナー設置型	樹脂製，		1		1			2 台
ベビーシート	開閉式	樹脂製，						1	1 台
排水ポンプ	<P-1> 水中型	32×100L/min×4m×150w，					1		1 台
電気パネルヒーター	<PH-1> 壁掛型	暖房出力：1.0KW， サーモスタット付， 1φ100v×1.0kw，		1		1			2 台
電気パネルヒーター	<PH-2> 壁掛型	暖房出力：0.5KW， サーモスタット付， 1φ100v×0.5kw，			1		1		2 台
パイプファン	<F-1> 壁付型	200φ×255m3/h×10w， アルミ製丸形フード共，		2		2			4 台
パイプファン	<F-2> 壁付型	150φ×143m3/h×9.0w， アルミ製丸形フード共，			1		1		2 台

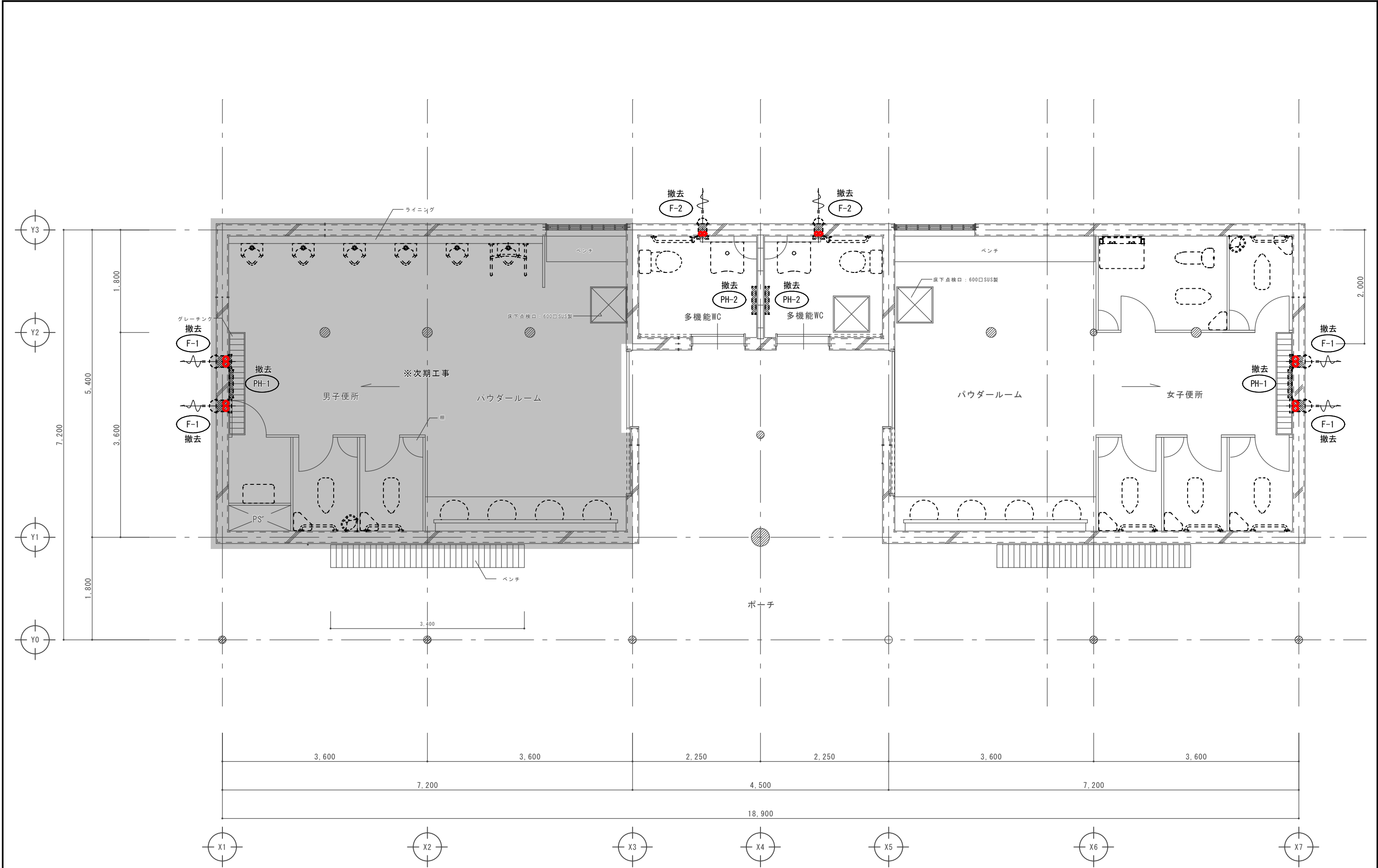
【※】
・男子トイレ・パウダーについては、電気パネルヒーター<PH-1>を除き次期工事とする。



【※】屋内の衛生器具及び配管は、全て撤去処分とする。

【※】既設器具撤去及び配管撤去後の穴埋めは、全て建築工事とする。

	東御市			社会資本整備総合交付金事業	DATE	2026. 09	JOB NO.	2 6 4 9	
				東御中央公園北側トイレ改修第 1 期工事	JOB NAME	SCALE A1	1 : 30	PART	機械設備
				衛生設備 撤去図	SHEET NAME	SCALE A3	1 : 60	SEET NO.	M - 05



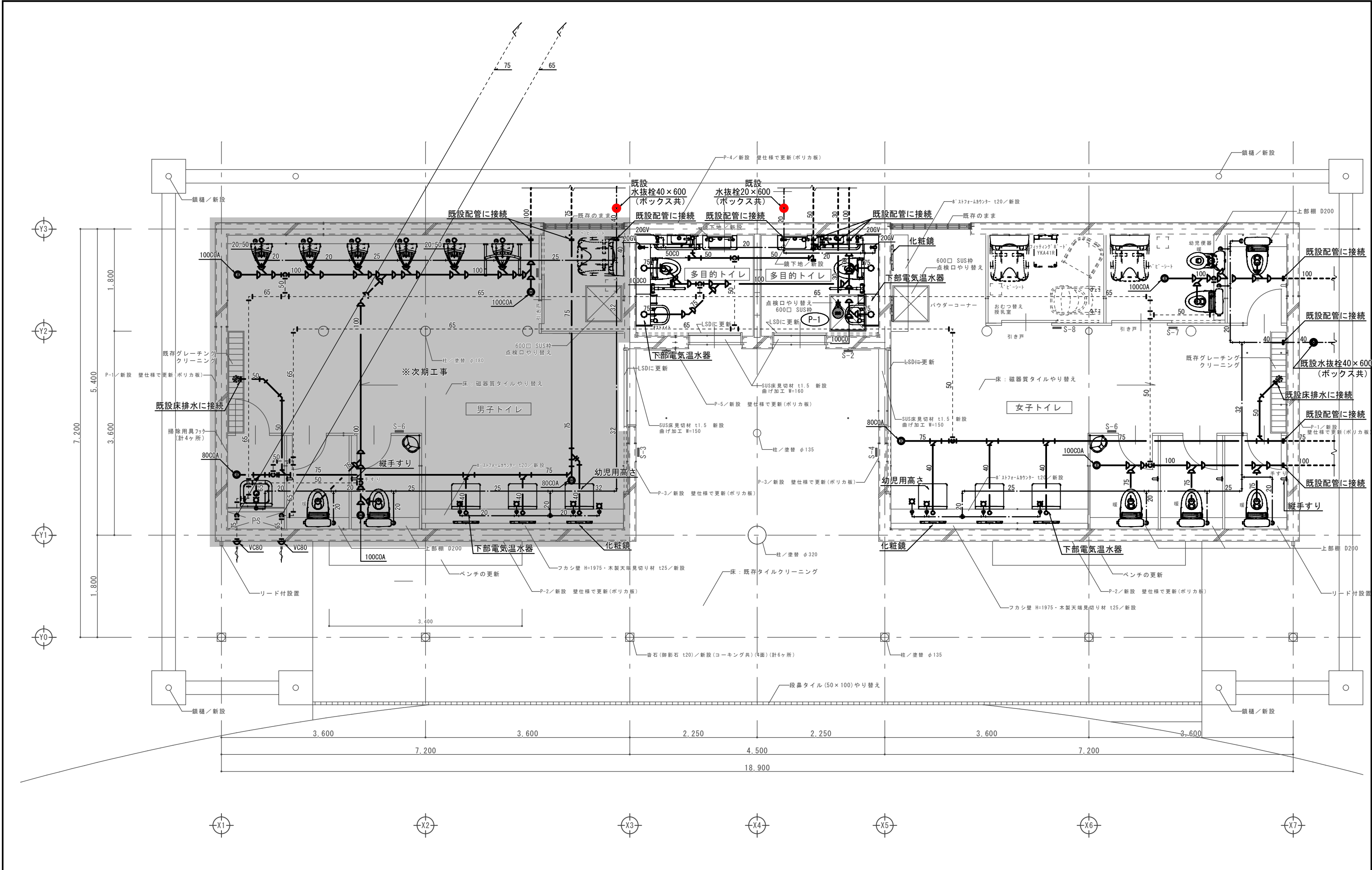
【※】屋内の暖房・換気機器は、全て撤去処分とする。
【※】既設換気扇撤去後の壁穴は、再利用の為そのままとする。

	東御市			社会資本整備総合交付金事業	DATE 2026.09	JOB NO. 2 6 4 9
				JOB NAME 東御中央公園北側トイレ改修第1期工事	SCALE A1 1 : 30	PART 機械設備
				SHEET NAME 暖房・換気設備 撤去図	SCALE A3 1 : 60	SEET NO. M - 06

改修 器具・機器リスト

機 器 具 名	参 考 品 番	仕 様 ・ 付 属 品	消 費 電 力	男子 トイレ	男子 多目的 トイレ	女子 トイレ	女子 多目的 トイレ	パウダー コーナー	小児用 トイレ	合 計
コンパクト便器	CFS498BK	フラッシュタンク式、床置床排水大便器、内部金物、止水栓共、		2		4			1	7 組
温水洗浄便座	TCF5534AUY	貯湯式、ウォシュレットPS2A、擬音装置付、エコリモコン共、	1φ100v×311w						1	1 台
暖房便座	TCF116V6	便ふたなし、ウォームレットS、ソフト閉止、	1φ100v×52w	2		4				6 台
棚付二連紙巻器	YH701	立座ラク棚付、ワンハンドカット機能、フロントワンタッチ機能付き、		2		4			1	7 個
幼児用腰掛便器	CS300B	平付ロータンク（S300BK）、幼児用暖房便座（TCF40）、止水栓共、	1φ100v×32w						1	1 組
紙巻器	YH500	樹脂製、ワンハンドカット機能、							1	1 個
自動洗浄小便器	UFS900R	壁掛型排水、低リップ型、	1φ100v×0.5w	6						6 組
パブリック用手すり	T112C6	樹脂被覆、多用途用（縦手すり）、I型（600L×90D）、		2		4				6 台
小便器用手すり	T112C6	樹脂被覆、門型（600W×550D×470H）、		1						1 台
壁掛ハイバック洗面器	LSG135ANR	自動水栓一体形電気温水器タイプ、壁排水、水石けん供給栓なし、	1φ100v×600.6w	1		1				2 組
壁掛ハイバック洗面器	LSA135AN	自動水栓単水栓タイプ、壁排水、水石けん供給栓なし、	1φ100v×0.6w	2		2				4 組
化粧鏡	EL80013	LED照明付鏡、寸法：450W×38D×600H、		3		3		2		8 台
掃除用流し	SK22A	レバーハンドル水栓（T23AEQ20C）、Sトラップ排水金具共、		1						1 組
横水栓	T28AUNH13	掃除用、カップリング付、13A、		1		1				2 個
バリアフリートイレバック	UADAK21R(L)1A1ADD2BA	コンパクト型、フラッシュタンク床置便器、ウォシュレット(PS2AK)便ふたなし、エコリモコン共、	1φ100v×409w		1		1			2 組
		オストメイト（ロータンク・ブルアウト式混合栓・電気温水器内蔵・水石けん入れ・紙巻器）共、	1φ100v×535w							
		手洗器・洗面器（自動水栓・電気温水器内蔵・横形水石けん入れ）、化粧鏡（EL80017）共、	1φ100v×505.6w							
		樹脂被覆手すり（跳ね上げ・L形）、チャームボックス他付属品一式共、								
ベビーチェア	YKA16S	コーナー設置タイプ、樹脂製、寸法：300W×315D×950H、		1		1				2 台
ベビーシート	YKA24N	開閉式、樹脂製、寸法：690W×265D(使用時815)×1400H、		1					2	3 台
フィッティングボード	YKA41R	開閉式、樹脂製、寸法：400W×87D(使用時560)×560H、							1	1 台
排水ポンプ	WUP4-326-0.15SL	強化樹脂製、水中自動型、32A×110L/min×3.5m、	1φ100v×0.15kw				1			1 台
電気パネルヒーター	<EHP-1> NX-500	壁掛型、暖房出力：0.5KW、寸法：490L×70D×500H、サーモスタット付、いたずら防止カバー共、	1φ200v×0.5kw		1		1			2 台
電気遠赤外線ヒーター	<EHP-2> ES-2002C	コーナー型、暖房出力：2.0KW、寸法：1680L×48D×470H、デジタル式サーモスタット（UT-9）付属品共	1φ200v×2.0kw	1		1				2 台
パイプファン	<F-1> V-20PXS05	200φ×330m3/h、屋外：200φステンレス製丸形フード共、	1φ100v×13w	2		2				4 台
パイプファン	<F-2> V-12PSD8	150φ×145m3/h、屋外：150φステンレス製丸形フード共、	1φ100v×6.5w		1		1			2 台

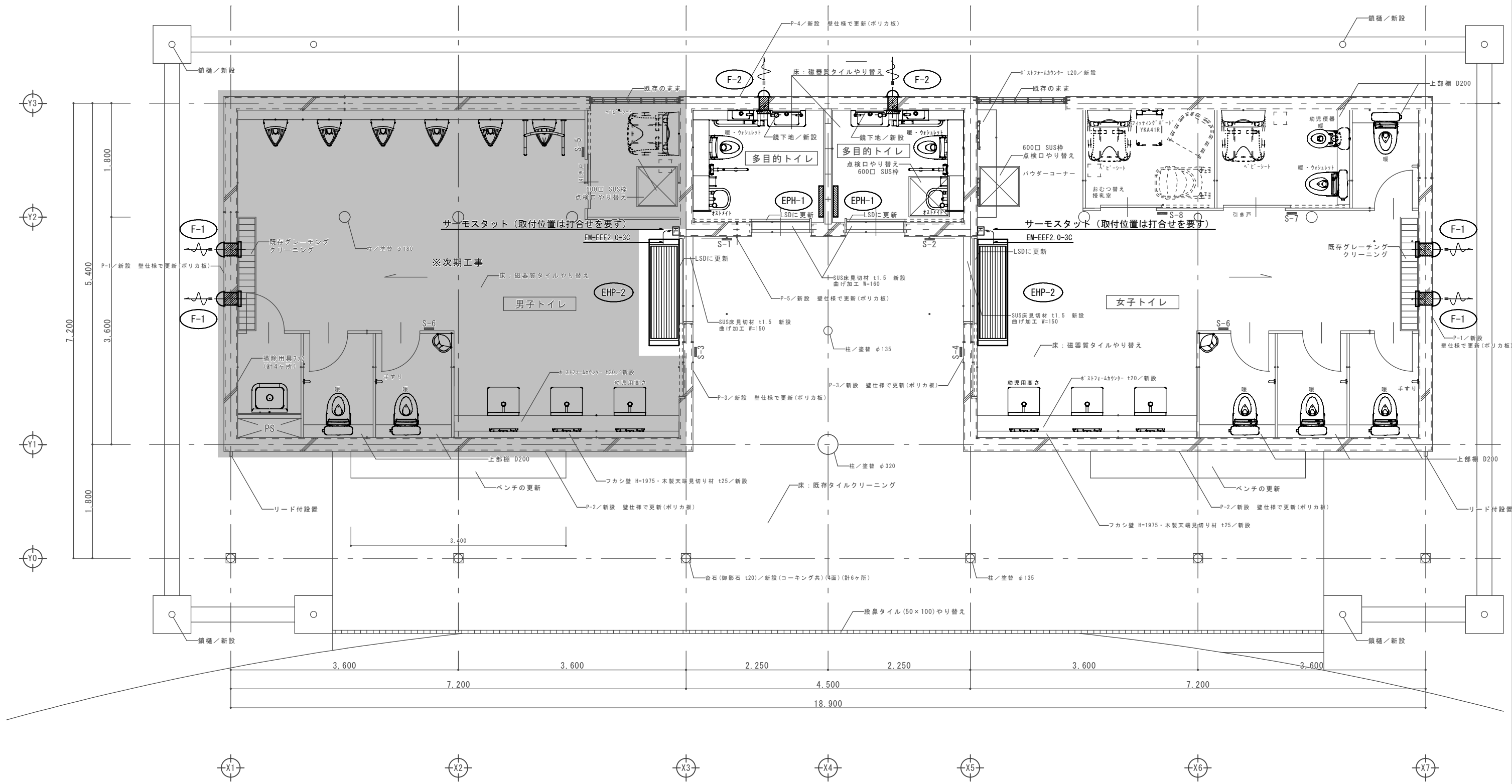
- 【※】
- 器具、機器類は監理者・監督員の承認を得ること。
 - 〈EPH-2〉電気遠赤外線ヒーターのサーモスタット取付け・二次側配線は「電気工事」とする。
 - 男子トイレについては、電気遠赤外線ヒーター<EPH-2>を除き次期工事とする。



【※】屋内の衛生器具及び配管は、床排水金物を除く全てを更新とする。
【※】新設器具取付及び配管の為に穴あけ（鉄筋探索を含む）は、全て本工事とする。

東御市			社会資本整備総合交付金事業		DATE 2026.09	JOB NO. 2 6 4 9
			JOB NAME	東御中央公園北側トイレ改修第1期工事	SCALE A1 1 : 30	PART 機械設備
			SHEET NAME	衛生設備 改修図	SCALE A3 1 : 60	SEET NO. M - 08

【※】〈F-2〉・〈EHP-1〉を取付ける壁仕上材はアスベスト含有の為、ビス等の穿孔の際、吸引等の適切な措置を講ずること。



【※】〈EHP-2〉電気遠赤外線ヒーターのサーモスタット取付け・二次側配線は「電気工事」とする。

【※】既設換気扇撤去後の壁穴は、再利用する。